

関東信越厚生局長 殿

管理者名 防衛医科大学校病院長

望月英

防衛医科大学校病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成21年度の業務に
関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	69人
--------	-----

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	216人	36人	219.0人	看護業務補助	35人	診療エックス線技師	人
歯科医師	9人	3人	10.0人	理学療法士	3人	臨床検査技師	33人
薬剤師	22人	1人	23.0人	作業療法士	2人	衛生検査技師	人
保健師	人	人	人	視能訓練士	3人	その他の	人
助産師	16人	人	16.0人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	人
看護師	397人	11人	402.0人	臨床工学技士	5人	医療社会事業従事者	2人
准看護師	人	1人	0.1人	栄養士	人	その他の技術員	3人
歯科衛生士	1人	人	1.0人	歯科技工士	2人	事務職員	32人
管理栄養士	5人	人	5.0人	診療放射線技師	23人	その他の職員	13人

(注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	460.9人	7.8人	468.7人
1日当たり平均外来患者数	1,247.1人	47.0人	1,294.1人
1日当たり平均調剤数			627剤

(注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、年間の各科別のし入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数記入すること。

3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延べ数

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示
第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	35人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。)に係るものに限る。)	1人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))	2人
骨腫瘍のCT透視下ガイド経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。)に係るものに限る。)	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱患者数	疾 患 名	取扱患者数
・ベーチェット病	40人	・膿疱性乾癥	5人
・多発性硬化症	47人	・広範脊柱管狭窄症	6人
・重症筋無力症	89人	・原発性胆汁性肝硬変	51人
・全身性エリテマトーデス	194人	・重症急性胰炎	8人
・スモン	1人	・特発性大腿骨頭壊死症	25人
・再生不良性貧血	27人	・混合性結合組織病	28人
・サルコイドーシス	80人	・原発性免疫不全症候群	12人
・筋萎縮性側索硬化症	10人	・特発性間質性肺炎	4人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	109人	・網膜色素変性症	21人
・特発性血小板減少性紫斑病	74人	・プリオൺ病	人
・結節性動脈周囲炎	44人	・肺動脈性肺高血圧症	人
・潰瘍性大腸炎	178人	・神経線維腫症	6人
・大動脈炎症候群	15人	・亜急性硬化性全脳炎	人
・ビュルガー病	9人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・天疱瘡	17人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	2人
・脊髄小脳変性症	31人	・ライソゾーム病	2人
・クローン病	74人	・副腎白質ジストロフィー	人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	人
・悪性関節リウマチ	17人	・脊髄性筋委縮症	人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	171人	・球脊髄性筋委縮症	人
・アミロイドーシス	5人	・慢性炎症性脱髓性多発神経炎	人
・後縦靭帯骨化症	33人	・肥大型心筋症	人
・ハンチントン病	人	・拘束型心筋症	人
・モヤモヤ病(ウィルス動脈輪閉塞症)	32人	・ミトコンドリア病	人
・ウェグナー肉芽腫症	3人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	人
・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	28人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリーブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	15人	・黄色靭帯骨化症	人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	人

(注)「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・乳がんセンチネルリンパ節加算1(併用法)	・
・乳がんセンチネルリンパ節加算2(単独法)	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1週間に4回程度
部 検 の 状 況	部検症例数 37 例 / 部検率 10.20%

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

(単位:千円)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
DNA切断・修復機能異常による疾患の責任遺伝子同定と機能解析及び診断・治療への応用	野々山 恵章	小児科学	9,321	補助委員 特別研究費
フォトニック分子治療学に基づく重症外傷の新規治療戦略の検討	佐藤 俊一	情報システム研究部門	7,546	補助委員 特別研究費
Neurovascular microunit機構の解明とこれに基づく分子生体制御に関する研究	西田 育弘	生理学	6,651	補助委員 特別研究費
マラリア原虫赤内型感染制御機構の解析	宮平 靖	国際感染症学	12,584	補助委員 特別研究費
肝臓の細胞性免疫及び液性免疫による生体防御の分子免疫機構の研究	関 修司	免疫・微生物学	12,021	補助委員 特別研究費
頭頸部難治性疾患に対する新しい治療法の開発	塩谷 彰浩	耳鼻いんこう科学	11,414	補助委員 特別研究費
In Silicoデザインに基づく癌の新規分子標的治療法の開発	四ノ宮 成祥	分子生体制御学	15,000	補助委員 特別研究費
重症熱傷患者の救命治療を目的とした基礎研究	斎藤 大蔵	外傷研究部門	14,650	補助委員 特別研究費
ノックアウトマウスを用いたシグナル伝達病に関する研究	伊藤 正孝	再生発生学	19,000	補助委員 特別研究費
合 計			108,187	

計 9

(注) 特別研究費とは、防衛医科大学校において学術振興に寄与するため優れた学術研究を格段に発展させることを目的とした経費

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
別添のとおり			

計345

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Arteriosclerosis, Thrombosis, and Vascular Biology 30(4):P708-715,2010.04	Deficiency of Interleukin-1 Receptor Antagonist Induces Aortic Valve Disease in BALB/c Mice	Isoda Kikuo, Matsuki Taizo, Kondo Harumi, Iwakura Yoichiro, Ohsuzu Fumitaka	内科1
Circulation Resarch 106(4): P779-787,2010.03	Coffee consumption enhances high-density lipoprotein-mediated cholesterol efflux in macrophages.	Kondo Harumi, Ayaori Makoto, Ogura Masatsune, Nakaya Kazuhiro, Ito M, Suzuki A, Takiguchi Shunichi, Yakushiji Emi, Terao Yoshio, Ozasa Hideki, Hisada Tetsuya, Sasaki Makoto, Ohsuzu Fumitaka, Ikewaki Katsunori	内科1
Atherosclerosis 209(1):P206-210,2010.03	High plasma levels of matrix metalloproteinase-8 in patients with unstable angina	Momiyama Yukihiko, Ohmori Reiko, Tanaka Nobuyuki, Kato Ryuichi, Taniguchi Hiroaki, Adachi Takeshi, Nakamura Haruo, Ohsuzu Fumitaka	内科1
Circulation Journal 74(4):P650-654,2010.03	Sex-Related Differences in the Risk Factor Profile and Medications of Patients With Atrial Fibrillation Recruited in J-TRACE	Inoue Hiroshi, Nozawa Takashi, Hirai Tadakazu, Goto Shinya, Origasa Hideki, Shimada Kazuyuki, Uchiyama Shinichiro, Hirabayashi Takayuki, Koretsune Yukihiro, Ono Shiro, Hasegawa Tooru, Sasagawa Yasuo, Kaneko Yoshiaki, Ikeda Yasuo, the J-TRACE Investigators, Ohsuzu Fumitaka	内科1
Internal Medicine 49(1):P81-82,2010.01	Cardiac Magnetic Resonance Imaging Helps Make the Diagnosis of Left Ventricular	Hayase Taichiro, Isoda Kikuo, Abe Keiko, Akita Koji, Arai Yuko, Ohsuzu Fumitaka	内科1
Circulation Journal 73(11):P2015-2016,2009.11	Cosmic Effect of Rosuvastatin in COSMOS	Adachi Takeshi, Ohsuzu Fumitaka	内科1
Atherosclerosis 207(1):P272-276,2009.11	Prognostic value of plasma high-sensitivity C-reactive protein levels in Japanese patients with stable coronary artery disease:the Japan NCVC-Collaborative Inflammation Cohort(JNIC) Study.	Momiyama Yukihiko, Kawaguchi A, Kajiwara I, Ohmori Reiko, Okada K, Saito I, Konishi M, Nakamura M, Sato S, Kokubo Y, Mannami T, Adachi H, Kario K, Iso H, Ohsuzu	内科1
Circulation Journal 73(11):P2154-2162,2009.11	Soluble Elastin Decreases in the Progress of Atheroma (可溶性Elastinと粥腫安定性との関連)	Akima Takashi, Nakanishi Kuniaki, Suzuki Kimihiro, Katayama Masahiko, Ohsuzu Fumitaka, Kawai Toshiaki	内科1
Circulation Research 105:P1149-1158,2009.10	Pressure-Mediated Hypertrophy and Mechanical Stretch Induces IL-1 Release and Subsequent IGF-1 Generation to Maintai Compensative Hypertrophy by Affecting Akt and JNK Pathways(圧負荷による心肥大と機械的伸展はAktとJNK経路を介した代償性肥大維持のためIL-1放出とIGF-1産生を誘導する)	Honsho Shoken, Nishikawa Susumu, Amano Katsuya, Kan Zen, Adachi Yasushi, Kishita Eigo, Matsui Akihiro, Katsume Asako, Yamaguchi Shinichiro, Nishikawa Kenichiro, Isoda Kikuo, David W.H. Riches, Matoba Satoaki, Okigaki Mitsuhiko, Matsubara Hiroaki	内科1

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Anadolu Kardiyol Derg 9(4):P345-347,2009.08	Periodic recurrence of wide QRS tachycardia in myocardial infarction and vasospasm:utility of heart rate variability to assess autonomic nervous system activity on vasospasm-induced lethal arrhythmia	Takase Bonpei, Kimura Mikihiko, Hamabe Akira, Uehata Akimi, Hattori Hidemi, Ishihara Masayuki, Kurita Akira	内科1
Therapeutic Reserch 30(7):P1122-1128,2009.07	Slow Pathway 領域に関連した2種類の頻拍が誘発され診断に苦慮した1例	濱部晃, 久留秀樹, 田畠博嗣, 永井知雄, 上畠昭美, 山口尊則, 長瀬宇彦, 大鈴文孝, 高瀬凡平	内科1
J Clin Pharm Ther 34(3):P288-299,2009.06	Effects of angiotensin on the expression of fibrosis-associated cytokines, growth factors, and matrix proteins in human lung fibroblasts	Okada Makoto, Suzuki Kimihiro, Matsumoto Mitsuyo, Takada Kunio, Nakanishi Takashi, Horikoshi Hideki, Higuchi Tomoaki, Hosono Y, Nakayama M, Ohsuzu Fumitaka	内科1
Japanese Journal of Interventional Cardiology 24(3):P256-261,2009.06	当院におけるエキシマレーザー冠動脈形成術7例の検討	江崎裕敬, 荒川宏, 中島淳, 石神徳郎, 磯田菊生, 大鈴文孝	内科1
European Journal of Cardiovascular Prevention and Rehabilitation 16(2):P222-228,2009.04	Effect of lipid-lowering therapy with atorvastatin on atherosclerotic aortic plaques: 2-year follow-up by noninvasive MRI	Yonemura Atsushi, Momiyama Yukihiko, Zahi A. Fayad, Ayaori Makoto, Ohmori Reiko, Kihara Teruyoshi, Tanaka Nobukiyo, Nakaya Kazuhiro, Ogura Masatsune, Taniguchi Hiroaki, Kusuvara Masatoshi, Nagata Masayoshi, Nakamura Haruo, Tamai Seiichi, Ohsuzu Fumitaka	内科1
International Heart Journal	Late Gadolinium Enhanced HighResolution Magnetic Resonance Imaging Reveals Pathophysiological Condition of Cardiac Sarcoidosis	Niida Tomiharu, Isoda Kikuo, Sasaki Makoto, Horikawa Masahiro, Hayashi Katsumi, Ohsuzu Fumitaka	内科1
International Journal of Clinical Pharmacology and Therapeutics 46(6): p.307-308, 2008.06	Effect of kremezin on early-phase renal dysfunction during treatment with cyclosporin A in systemic autoimmune disease.	Okada Makoto, Suzuki Kimihiro, Matsumoto Mitsuyo, Takada Kunio, Nakashima Masahiro, Nakanishi Takashi, Horikoshi Hideyuki, Higuchi Tomoaki, Hosono Yuji, Ohsuzu Fumitaka	内科1
Journal of Echocardiology 6(1): p.21-23, 2008.06	Mitral Valve Prolapse and Dural Ectasia in a Patient With Marfan Syndrome	Takiguchi Shunichi, Isoda Kikuo, Miyamoto Morikazu, Komatsu Tomohiro, Touya Takumi, Ohsuzu Fumitaka.	内科1
Journal of Atherosclerosis Thrombosis 16(1): p.51-56, 2009.03	Effects of atorvastatin on nuclear magnetic resonance-defined lipoprotein subclasses and inflammatory markers in patients with hypercholesterolemia.	Ikewaki Katsunori, Terao Y, Ozasa H, Nakada Y, Tohyama J, Inoue Y, Yoshimura M.	内科1
The American Journal of Clinical Nutrition 88(2): p.272-281, 2008.08	Dietary monounsaturated fat activates metabolic pathways for triglyceride-rich lipoproteins that involve apolipoproteins E and C-III.	Zheng C, khoc C, Furtado J, Ikewaki Katsunori.	内科1
Lipids in Health and Disease 7: p.18-18, 2008.05	Characteristic comparison of triglyceride-rich remnant lipoprotein measurement between a new homogenous assay (RemL-C) and a conventional immunoseparation method (RLP-C).	Yoshida H, Kurosawa H, Hirowatari Y, Ogura Y, Ikewaki Katsunori, Abe I, Saikawa S, Domitsu K, Ito K, Yanai H, Tada N.	内科1
Asian Cardiovascular & Thoracic Annals 16: p.23-24, 2008.06	Pyogenic Vertebral Osteomyelitis after Surgery for rupture of the Aortic Arch.	Yashiro Nogami, Susumu Isoda, Masafumi Shimizu, Tamizo Kimura, Kimihiro Suzuki, Tadaaki Maehara.	内科1

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int J Oncol. 36(4):P941-953,2010.04	Bile acid regulates MUC2 transcription in colon cancer cells via positive EGFR/PKC/Ras/ERK/CREB, PI3K/Akt/IkappaB/NF-kappaB and p38/MSK1/CREB pathways and negative JNK/c-Jun/AP-1 pathway.	Lee HY, Crawley S, 穂苅量太, Kwon S, Kim YS	内科2
Surg Endosc 24:P471-475,2010.03	Minimally invasive surgery for resection of duodenal carcinoid tumors: endoscopic full-thickness resection under laparoscopic observation	Tsujiimoto Hironori, Ichikura Takashi, Nagao Shigeaki, Sato Tomoki, Ono Satoshi, Aiko Satoshi, Hiraki Shu-ichi, Yaguchi Yoshihisa, Sakamoto Naoko, Tanimizu Takemaru, Yamamoto Junji, Hase Kazuo	内科2
Human Pathology 41(2):P249-254,2010.03	Imprint cytology detects floating Brachyspira in human intestinal spirochetosis (腸管スピロヘータ症では捺印細胞診で浮遊するブラキスピラを検出できる)	Sho Ogata, Masaaki Higashiyama, Yoshikazu Adachi, Ichiyo Ohara, Junichiro Nishiyama, Yasushi Okusa, Hiroaki Takeo, Kimiya Sato, Kuniaki Nakaniishi, Toshiaki Kawai	内科2
World J Gastroenterol 16(2):P184-192,2010.01	An antioxidant resveratrol significantly enhanced replication of hepatitis C virus.	中村光康, 斎藤英胤, 池田正徳, 穂苅量太, 加藤宣之, 日比紀文, 三浦総一郎	内科2
日本小児科学会雑誌 114(1):P85-87,2010.01	人工呼吸管理例を含むパンデミックインフルエンザA(H1N1)2009肺炎の3例の治療経験	吉田裕輔, 西山光則, 石渡隆寛, 今井耕輔, 若松太, 川名明彦, 野々山恵章	内科2
Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol. 297(6):PG1077-1084,2009.12	Cilostazol, a specific PDE-3 inhibitor, ameliorates chronic ileitis via suppression of interaction of platelets with monocytes.	Matsunaga Hisayuki, Hokari Ryota, Higashiyama Masaaki, Kurihara Chie, Okada Yoshikiyo, Watanabe Chikako, Komoto Shunsuke, Nakamura Mitsuyasu, Kawaguchi Atsushi, Nagao Shigeaki, Miura Soichiro	内科2
J Pathol. 219(4):P417-426,2009.12	Increased expression and cellular localization of lipocalin-type prostaglandin D synthase in Helicobacter pylori-induced gastritis.	Hokari Ryota, Nagata Nanae, Kurihara Chie, Watanabe Chikako, Komoto Shunsuke, Okada Yoshikiyo, Kawaguchi Atsushi, Nagao Shigeaki, Hibi Toshifumi, Nagata Kinya, Urade Yoshihiro, Miura Soichiro	内科2
Clin Exp Immunol. 158(3):P325-333,2009.12	Omega-3 polyunsaturated fatty acids ameliorate the severity of ileitis in the senescence accelerated mice (SAM)P1/Yit mice model.	松永久幸, 穂苅量太, 栗原千枝, 岡田義清, 渡辺知佳子, 高本俊介, 中村光康, 都築義和, 川口淳, 永尾重昭, 三浦総一郎	内科2
Brachyspira 1(1):P42-54,2009.12	ヒト腸管スピロヘータ感染患者の疫学と臨床症状	東山正明, 緒方衝, 足立吉數, 西山純一郎, 松崎宏治, 小原一葉, 徳永徹二, 大草廉, 高本俊介, 穂苅量太, 三浦総一郎	内科2

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
リンパ学 32(2):P75-80,2009.12	消化管GALTへのリンパ球のマイグレーション	穂苅量太, 三浦総一郎	内科2
老年消化器病 21(3):P183-187,2009.12	消化管アレルギー	八月朔日秀明, 三浦総一郎	内科2
消化器内視鏡 21(10):P1568-1569,2009.12	転移性十二指腸癌	成松和幸, 佐藤宏和, 早坂健司, 川口淳, 永尾重昭	内科2
Gastrointest Endosc. 71(2):P406-412,2009.11	A case of intraductal papillary mucinous neoplasm of the pancreas rupturing both the stomach and duodenum.	Shimizu Motonori, Kawaguchi Atsushi, Nagao Shigeaki, Hozumi Hideaki, Komoto Shunsuke, Hokari Ryota, Miura Soichiro, Hatsuse Kazuo, Ogata Sho	内科2
Int J Oncol. 35(4):P741-749,2009.10	Blockade of B7-H1 or B7-DC induces an anti-tumor effect in a mouse pancreatic cancer model.	Okudaira Keisuke, Hokari Ryota, Tsuzuki Yoshikazu, Okada Yoshihiro, Komoto Shunsuke, Watanabe Chikako, Kurihara Chie, Kawaguchi Atsushi, Nagao Shigeaki, Azuma Miyuki, Miura Soichiro	内科2
臨床消化器内科 24(1):P71-75,2009.09	画像強調観察(2)光デジタル(Optical Digital Method) d. ITI	永尾重昭, 佐藤知己, 早坂健司, 東山正明, 川口淳, 丹羽寛文	内科2
Acta Medica Okayama 63(4):P217-221,2009.09	Human intestinal spirochetosis accompanied by human immunodeficiency virus infection: a case report. (HIV感染に合併したヒト腸管スピロヘータ症の一例)	Masaaki Higashiyama, Sho Ogata, Yoshikazu Adachi, Junichiro Nishiyama, Ichiyo Ohara, Meri Okamura, Koji Matsuzaki, Yasushi Okusa, Kimiya Sato, Ryota Hokari, Soichiro Miura	内科2
消化器の臨床:特集 消化器診療 示唆に富む症例 12(4):P357-359,2009.08	閉塞性黄疸の1症例	川口淳, 佐藤宏和, 三浦総一郎, 初瀬一夫, 木村暁史, 山本順司, 緒方衝	内科2
Canadian Journal of Surgery 52(3):PE71-E72,2009.06	Cholecystic adenosquamous carcinoma mimicking Mirizzi syndrome (Mirizzi症候群様の画像所見を呈した胆囊腺扁平上皮癌)	Takuya Horio, Sho Ogata, Yoshiaki Sugiura, Satoshi Aiko, Norishige Kanai, Hisayuki Matsunaga, Tadaaki Maehara	内科2
Peptides 30(5):P906-912,2009.05	Lipopolysaccharides stimulate adrenomedullin synthesis in intestinal epithelial cells: release kinetics and secretion polarity.	Kishikawa Hiroshi, Nishida Jiro, Ichikawa Hitoshi, Kaida Shogo, Morishita Tetsuo, Miura Soichiro, Hibi Toshifumi	内科2
Int J Exp Pathol. 90(2):P131-140,2000.04	Anti-inflammatory effects of the genus Bifidobacterium on macrophages by modification of phospho-I kappaB and SOCS gene expression.	Yoshikiyo Okada, Yoshikazu Tsuzuki, Ryota Hokari, Shunsuke Komoto, Chie Kurihara, Atsushi Kawaguchi, Shigeaki Nagao, Soichiro Miura	内科2
Microcirculation 16(3):P251-264,2009.04	Oral tolerance induced by enterobacteria altered the process of lymphocyte recruitment to intestinal microvessels: roles of endothelial cell adhesion molecules, TGF-beta and negative regulators of TLR signaling.	Takebayashi Koichi, Hokari Ryota, Kurihara Chie, Okada Yoshihiro, Okudaira Keisuke, Matsunaga Hisayuki, Komoto Shunsuke, Watanabe Chikako, Kawaguchi Atsushi, Nagao Shigeaki, Tsuzuki Yoshikazu, Miura Soichiro	内科2

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日呼吸会誌 48(1):P23~27,2010.01	経時的内視鏡所見を観察した続発性気管支動脈蔓状血管腫	篠田雅宏, 小林英夫, 河野修一, 叶宗一郎, 尾関雄一	内科3
Science Translational Medicine 1(5):P1~8,2009.11	Common defects of ABCG2, a high-capacity urate exporter, cause gout: a function-based genetic analysis in a Japanese population	Hirotaka Matsuo, Tappei Takada, Kimiyoshi Ichida, Takahiro Nakamura, Akiyoshi Nakayama, Yuki Ikebuchi, Kousei Ito, Yasuyoshi Kusanagi, Toshinori Chiba, Shin Tadokoro, Yuzo Takada, Yuji Okawa, Hiroki Inoue, Koji Suzuki, Rieko Okada, Junichiro Nishiyama, Hideharu Domoto, Satoru Watanabe, Masanori Fujita, Yuji Morimoto, Mariko Naito, Kazuko Nishio, Asahi Hishida, Kenji Wakai, Yatami Asai, Kazuki Niwa, Keiko Kamakura, Shigeaki Nonoyama, Yutaka Sakurai, Tatsuo Hosoya, Yoshikatsu Kanai, Hiroshi Suzuki, Nobuyuki Hamajima, Naruyoshi Shinomiya	内科3
Parkinsonism and Related Disorders 15: P160~161,2009.10	A new mutation in the GCH1 gene presents as early-onset Parkinsonism.	Kazunari Monma, Manabu Funayama, Yunanzhe Li, Hiroshi Ichinose, Kazuo Motoyoshi, Nobutaka Hattori, Yoshikuni Mizuno, Keiko Kamakura	内科3
臨床神経学 2009(8):P488~492,2009.10	抗GM1/GalNAc-GD1a複合体抗体陽性で、伝導ブロックを呈した純粹運動型Guillain-Barre症候群の1例	小川剛, 海田賢一, 汐崎祐, 荒木学, 木村文彦, 鎌倉恵子	内科3
日本呼吸器学会雑誌 47(9):P765~771,2009.09	自己血注入による気管支鏡的肺容量減少療法	小林英夫, 叶宗一郎	内科3
今日の移植 22(5):P515~518,2009.09	骨髓異形成症候群に続発した急性骨髓性白血病に対しCAM療法(M-CSF併用少量化学療法)が奏効した1例	前川隆彰, 佐藤謙, 渡邊純一, 木村文彦	内科3
Pathology International 59(8):P592~594,2009.08	Malignant pleural mesothelioma initially diagnosed on cervical lymph node biopsy (頸部リンパ節生検により診断された悪性胸膜中皮腫)	Sho Ogata, Sadayuki Hiroi, Tomonaga Susumu, Shinsuke Aida, Ayako Kobayashi, Katsumi Tamura, Yoshiyuki Abe, Toshiaki Kawai	内科3
日本呼吸器学会雑誌 47(8):P669~674,2009.08	明らかな基礎疾患を認めない気管支アスペルギルス症の検討	忍田尚幸, 小林英夫, 叶宗一郎, 元吉和夫, 相田真介, 尾関雄一	内科3
泌尿器科紀要 in press,2009.07	巨大膀胱憩室内に発生した平滑筋肉腫の1例	辻田裕二郎, 住友誠, 田崎新資, 城武卓, 橋口陽二郎, 浅野友彦	内科3
Journal of Newuroimmunology 214: P125~127,2009.06	Antibodies to ganglioside complexes consisting of asialo-GM1 and GQ1b or GT1a in Fisher and Guillain-Barre syndrome	Go Ogawa, Kenichi Kaida, susumu Kusunoki, masami ueda, Fumihiro Kimura, Keiko Kamakura	内科3
Mayo Clin Proc 84(6):P555~557,2009.06	Tracheobronchial pulmonary disease associated with pyoderma gangrenosum	Kanoh Soichiro, Kobayashi Hideo, Sato Ken, Motoyoshi Kazuo, Aida Shinsuke	内科3
泌尿器科紀要 55(6):P319~332,2009.06	片側副腎を摘除した両側副腎性クッシング症候群の2例	戸邊武蔵, 伊藤敬一, 梅田俊, 安谷屋徳章, 田中祐司, 早川正道, 浅野友彦	内科3

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
内分泌・糖尿病科 28(6):P537-540,2009.06	甲状腺刺激ホルモン至適値をめぐる議論(肥満、アルツハイマー病を含めて)	田中祐司	内科3
Ann Thorac Surg 87(4):P1266-1268,2009.04	Bronchoscopic blood injection reducing lung volume in lymphangioleiomyomatosis	Kanoh Soichiro, Kobayashi Hideo, Motoyoshi Kazuo	内科3
Annals of hematology 88(4):P311-315,2009.04	Efficacy of low-dose imatinib in chronic-phase chronic myelogenous leukemia patients.	Shinichi Kobayashi, Fumihiro Kimura, Ayako Kobayashi, Ken Sato, Kazuo Motoyoshi	内科3

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
H21年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業 総括研究分担報告書 P21-55,2010.03	HIV感染妊婦とその出生児に関するデータベースの構築およびHIV感染妊婦の疫学的・臨床的情報解析	喜多恒和, 岩田みさ子, 小林裕幸, 佐久本薫, 高野政志, 田口彰則, 中西美紗絵, 松田秀雄, 箕浦茂樹, 金子ゆかり	総合臨床部
脳と精神の医学 20(3):P255-259,2009.12	髄膜種を合併する反復性大うつ病性障害に対する修正型電気けいれん療法の経験	中武将幸, 寺石俊也, 脇園知宜, 田邊英, 桑原達郎, 吉野相英, 野村総一郎	総合臨床部
防衛衛生(0006-5528)56(10): P211-214,2009.10	激しい腰痛と両下肢痛で発症し、頭蓋硬膜下血腫を合併し、死亡した劇症型溶連菌感染症の一例	柳川洋一, 畑中公輔, 阪本敏久, 山崎民大, 久貝信夫, 菊池良子, 松原修	総合臨床部

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Surg Endosc 24: P471-475,2010.03	Minimally invasive surgery for resection of duodenal carcinoid tumors: endoscopic full-thickness resection under laparoscopic observation	Tsujiimoto Hironori, Ichikura Takashi, Nagao Shigeaki, Sato Tomoki, Ono Satoshi, Aiko Satoshi, Hiraki Shu-ichi, Yaguchi Yoshihisa, Sakamoto Naoko, Tanimizu Takemaru, Yamamoto Junji, Hase Kazuo	外科1
日本臨床 68(増刊): P231-235,2010.03	静脈・経腸栄養(第3版)~基礎・臨床研究のアップデート~ V. 経腸栄養 経腸栄養と腸管免疫	守屋智之, 深柄和彦, 山本順司	外科1
Acta Medica Okayama 64(1):P63-65,2010.02	Poorly differentiated adenocarcinoma with signet-ring cell carcinoma of the extrahepatic bile duct in a 42-year-old Japanese female: a case report (42才日本人女性の肝外胆道に発生した印環細胞癌を伴う低分化腺癌の症例報告)	Sho Ogata, Akifumi Kimura, Kazuo Hatsuse, Junji Yamamoto, 島崎英幸, Kuniaki Nakanishi, Toshiaki Kawai	外科1
EXPERIMENTAL AND THERAPEUTIC MEDICINE 1: P199-203,2010.01	Outcome after emergency surgery in patients with a free perforation caused by gastric cancer	Tsujiimoto Hironori, Hiraki Shu-ichi, Sakamoto Naoko, Yaguchi Yoshihisa, Horio Takuya, Kumano Isao, Akase Takayoshi, Sugasawa Hidekazu, Aiko Satoshi, Ono Satoshi, Ichikura Takashi, Hase Kazuo	外科1
ONCOLOGY LETTERS 1: P119-125,2010.01	Postoperative infections are associated with adverse outcome after resection with curative intent for colorectal cancer	Tsujiimoto Hironori, Ueno Hideki, Hashiguchi Yojiro, Ono Satoshi, Ichikura Takashi, Hase Kazuo	外科1
臨床消化器内科 25(1):P35-42,2010.01	直腸癌手術における肛門温存 (3)ISR	梶原由規, 長谷和生, 上野秀樹, 神藤英二, 橋口陽二郎, 望月英隆	外科1
Gastrointest Endosc. 71(2):P406-412,2009.11	A case of intraductal papillary mucinous neoplasm of the pancreas rupturing both the stomach and duodenum.	Shimizu Motonori, Kawaguchi Atsushi, Nagao Shigeaki, Hozumi Hideaki, Komoto Shunsuke, Hokari Ryota, Miura Soichiro, Hatsuse Kazuo, Ogata Sho	外科1
Journal of Parenteral and Enteral Nutrition 33(6):P618-625,2009.11	Enteral refeeding rapidly restores PN-induced reduction of hepatic mononuclear cell number through recovery of small intestine and portal vein blood flows.	Omata Jiro, Fukatsu Kazuhiko, Murakoshi S, Noguchi M, Miyazaki Hiromi, Moriya Tomoyuki, Okamoto Kouichi, Fukazawa Satomi, Akase Takayoshi, Saitoh Daizoh, Mochizuki Hidetaka, Yamamoto Junji, Hase Kazuo	外科1
Breast Journal inpress,2009.10	Early metabolic response after one cycle of neoadjuvant chemotherapy is an independent predictor of pathological response of primary breast cancer: a sequential study using 18F-FDG PET/CT	Ueda Shigeto, Tsuda Hitoshi, Saeki Toshiaki, Fukatsu Kazuhiko, Osaki Akihiko, Shigekawa Takashi, Ishida Jiro, Tamura Katsumi, Abe Yoshiyuki, Omata Jiro, Moriya Tomoyuki, Yamamoto Junji	外科1
消化器外科 32(10):P1531-1541,2009.10	Moving Window法を用いた小開腹結腸右半切除術	長谷和生, 竹内英司, 梶原由規, 上野秀樹, 橋口陽二郎, 望月英隆	外科1
産婦人科の実際 58(10):P1491-1496,2009.10	婦人科悪性腫瘍(卵巣癌・子宮体癌など)婦人科癌における消化管合併切除	橋口陽二郎, 上野秀樹, 内藤善久, 神藤英二, 梶原由規, 長谷和生, 古谷健一	外科1
Audio-Visual Journal of JUA inpress,2009.09	横隔膜を少し超える巨大な下大静脈腫瘍塞栓を伴う右腎癌に対する1手術例 ~手術侵襲を軽減する術式の考察	伊藤敬一, 城武卓, 吉井貴彦, 磯田晋, 山本順司, 前原正明, 早川正道, 浅野友彦	外科1
消化器の臨床:特集 消化器診療 示唆に富む症例 12(4):P357-359,2009.08	閉塞性黄疸の1症例	川口淳, 佐藤宏和, 三浦総一郎, 初瀬一夫, 木村暁史, 山本順司, 緒方衝	外科1

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Annals of Surgical Oncology 16(8):P2375-2376,2009.07	Response to Letter to the Editor: Postoperative infectious morbidity for resectable gastric cancer: Searching robust predictors of survival	Tsujiimoto Hironori, Ichikura Takashi, Ono Satoshi, Sugasawa Hidekazu, Hiraki Shu-ichi, Sakamoto Naoko, Yaguchi Yoshihisa, Yoshida Kazumichi, Matsumoto Yusuke, Hase Kazuo	外科1
日本腹部救急医学会雑誌 29(5):P711-715,2009.07	【腹部救急における敗血症の病態と治療戦略特に血液浄化療法について】制御性T細胞に着目したsepsisに続発する免疫抑制状態	辻本広紀, 平木修一, 木下学, 愛甲聰, 小野聰, 山本順司, 長谷和生	外科1
泌尿器科紀要 inpress,2009.07	巨大膀胱憩室内に発生した平滑筋肉腫の1例	辻田裕二郎, 住友誠, 田崎新資, 城武卓, 橋口陽二郎, 浅野友彦	外科1
外科 71(7):P699-703,2009.07	消化器外科領域におけるoncologic emergency II.胃癌 2.胃癌穿孔	辻本広紀, 小野聰, 愛甲聰, 山本順司, 長谷和生	外科1
医学のあゆみ 230(2):P172-174,2009.07	癌および侵襲時における制御性T細胞の意義	辻本広紀, 長谷和生	外科1
週刊日本医事新報 (4446):P74-75,2009.07	直腸癌に対する放射線治療	橋口陽二郎, 上野秀樹, 長谷和生	外科1
防衛衛生 56(7):P153-156,2009.07	防衛医科大学校病院への回転翼による患者移送を行う方法	柳川洋一, 牟田直, 三丸敦洋, 阪本敏久, 斎藤大蔵, 望月英隆, 島克司, 大河原治平	外科1
Clin Nutr 28(6):P668-673,2009.06	Enteral nutrition rapidly reverses total parenteral nutrition-induced impairment of hepatic immunity in a murine model.	Omata Jiro, Fukatsu Kazuhiko, Maeshima Yoshinori, Moriya Tomoyuki, Murakoshi S, Noguchi M, Okamoto Kouichi, Fukazawa Satomi, Saitoh Daizoh, Mochizuki Hidetaka, Yamamoto Junji, Hase Kazuo	外科1
Pathology International 59(6):P390-394,2009.06	Histological differences between invasive ductal carcinoma with a large central acellular zone and matrix-producing carcinoma of the breast (乳腺の中心部に広汎な無細胞領域を有する浸潤性乳管癌と基質産生病との組織学的な相違)	Sasaki Yuka, Tsuda Hitoshi, Ueda Shigeto, Asakawa Hideki, Seki Kunihiro, Murata Tetsuya, Kuriki Ken, Tamai Seiichi, Matsubara Osamu	外科1
Annals of Surgery 249(6):P942-947,2009.06	Limited Gastrectomy With Dissection of Sentinel Node Stations for Early Gastric Cancer With Negative Sentinel Node Biopsy	Takashi Ichikura, Hidekazu Sugasawa, Naoko Sakamoto, Yoshihisa Yaguchi, Hironori Tsujimoto, Satoshi Ono	外科1
Diseases of the Colon & Rectum 52(4):P567-576,2009.06	Outcomes of Surgery Alone for Lower Rectal Cancer With and Without Pelvic Sidewall Dissection	Kobayashi Hirotoshi, Mochizuki Hidetaka, Kato Tomoyuki, Mori Takeo, Kameoka Shingo, Shirouzu Kazuo, Sugihara Kenichi	外科1

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
癌の臨床 55(6):P447-452,2009.06	Paclitaxel/doxifluridine(5'-DFUR)と放射線療法により原発巣の組織学的CRが得られた進行胃癌	佐藤太一, 井上公俊, 長谷和生, 倉永憲二, 森田大作, 村山道典, 直居豊, 佐藤仁哉, 小林秀紀	外科1
日本医師会雑誌 138特別(1):PS71-S72,2009.06	がん治療update 2.主要症候・検査所見からの診断へのアプローチ 便秘・下痢	望月英隆	外科1
臨床外科 64(6):P779-783,2009-6	大腸癌の肝転移のrandomized controlled trial	山本順司, 初瀬一夫, 柿原稔, 谷水長丸, 守屋智之, 上野秀樹, 辻本広紀, 小野聰, 市倉隆, 橋口陽二郎, 愛甲聰, 長谷和生	外科1
日本外科感染症学会雑誌 6(3):P211-216,2009.05	大学病院感染管理チームにおける感染制御からみた外科医ICDの役割とその意義	小野聰, 辻本広紀, 菅澤英一, 平木修一, 高畠りさ, 長谷和生	外科1
Clinical Cancer Research 15(8):P2879-2884,2009.04	Molecular detection of lymph node metastases in breast cancer patients: Results of a multi-center trial using the one-step nucleic acid amplification (OSNA) assay(乳癌患者におけるリンパ節転移の分子生物学的検出:OSNA法を用いた多施設研究結果)	Tamaki Yasuhiro, Akiyama Futoshi, Iwase Takaji, Kaneko Tomoyo, Tsuda Hitoshi, Sato Kazuhiko, Ueda Shigeto, Mano Masayuki, Masuda Norikazu, Takeda Masashi, Tsujimoto Masahiko, Yoshidome Katsuhide, Inaji Hideo, Nakajima Hiromu, Komoike Yoshifumi, Kataoka R, Tatsuki, Nakamura Seigo, Suzuki Koyu, Tsugawa Koichiro, Wakasa Kenichi, Okino Tsuyoshi, Kato Yo, Noguchi Shinzaburo, Matsuura Nariaki	外科1
Molecular and Cellular Biology 29(7):P1944-1958,2009.04	SALL3 interact with DNMT3A and shows the ability to inhibit CpG island methylation in hepatocellular carcinoma.	Shikauchi Y, Saiura A, Kubo T, Niwa Y, Yamamoto Junji, Murase Y, Yoshikawa H	外科1
手術 63(6):P765-770,2009.04	回盲部切除	長谷和生, 久保徹, 梶原由規, 小俣二郎, 上野秀樹, 橋口陽二郎	外科1

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Biomedical Materials Research. Part A 92(4):P1614-1622,2010.03	Fragmin/protamine microparticles as cell carriers to enhance viability of adipose-derived stromal cells and their subsequent effect on in vivo neovascularization	Shingo Nakamura, Satoko Kishimoto, Sinichirou Nakamura, Masaki Nambu, Masanori Fujita, Yoshihiro Tanaka, Yasutaka Mori, Masahiro Tagawa, Tadaaki Maehara, Masayuki Ishihara	外科2
Surg Endosc 24: P471-475,2010.03	Minimally invasive surgery for resection of duodenal carcinoid tumors: endoscopic full-thickness resection under laparoscopic observation	Tsujimoto Hironori, Ichikura Takashi, Nagao Shigeaki, Sato Tomoki, Ono Satoshi, Aiko Satoshi, Hiraki Shu-ichi, Yaguchi Yoshihisa, Sakamoto Naoko, Tanimizu Takemaru, Yamamoto Junji, Hase Kazuo	外科2
埼玉県医学会雑誌 44(2):P417-420,2010.02	気管食道瘻に対して気管ステントが有効であった食道癌の1例	小森和幸, 尾関雄一, 田中聖子, 中山健史, 愛甲聰, 前原正明	外科2
Biomaterials 31: P83-90,2010.01	Hydrogel blends of chitin/chitosan, fucoidan and alginate as healing-impaired wound dressings	Kaoru Murakami, Hiroshi Aoki, Shingo Nakamura, Sinichirou Nakamura, Megumi Takikawa, Motoaki Hanzawa, Satoko Kishimoto, Hidemi Hattori, Yoshihiro Tanaka, Tomoharu Kiyosawa, Yasunori Sato, Masayuki Ishihara	外科2
J. Biomed. Mater. Res. (B) 92: P32-39,2010.01	Immobilization, Stabilization, and Activation of Human Stem Cell Factor (SCF) on	Satoko Kishimoto, Fumie Oonuma, Shingo Nakamura, Hidemi Hattori, Sinichirou Nakamura, Yasutaka Mori, Yoshihiro Tanaka, Yasuji Harada, Masahiro Tagawa, Masayuki Ishihara	外科2
EXPERIMENTAL AND THERAPEUTIC MEDICINE 1: P199-203,2010.01	Outcome after emergency surgery in patients with a free perforation caused by gastric cancer	Tsujimoto Hironori, Hiraki Shu-ichi, Sakamoto Naoko, Yaguchi Yoshihisa, Horio Takuya, Kumano Isao, Akase Takayoshi, Sugawara Hidekazu, Aiko Satoshi, Ono Satoshi, Ichikura Takashi, Hase Kazuo	外科2
Cardiovasc Pathol 19(1):P59-62,2010.01	Thromboangiitis obliterans with multiple large vessel involvement: case report and analysis of immunophenotypes(多数の大きな血管を巻き込んだ閉塞性血栓性血管炎:症例報告と免疫表現型)	Naoiki Edo, Kosuke Miyai, Sho Ogata, Kuniaki Nakanishi, Susumu Tominaga, Satoshi Aiko, Toshiaki Kawai	外科2
日本呼吸器外科学会雑誌 24(1):P2-7,2010.01	肺瘻修復における超薄膜状ナノバイオマテリアルの臨床応用へ向けた基礎的検討	松谷哲行, 藤枝俊宣, 木下学, 尾関雄一, 武岡真司	外科2
Journal of Biomedical Materials Research. Part A 91(3):P814-823,2009.12	Controlled release of FGF-2 using fragmin/protamine microparticles and effect on neovascularization.	Shingo Nakamura, Yasuhiro Kanatani, Satoko Kishimoto, Sinichirou Nakamura, Chizuko Ohno, Takuya Horio, Masanori Fujita, Hidemi Hattori, Yoshihiro Tanaka, Tomoharu Kiyosawa, Tadaaki Maehara, Masayuki Ishihara	外科2
防菌防黴 37(11):P813-819,2009.11	植物抽出液による銀イオン剤の抗真菌性の促進について	森康貴, 小野岳史, 宮平靖, 石原雅之, 田中良弘, 服部秀美, 中村伸吾, 岸本聰子, 松井岳巳	外科2

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本呼吸器外科学会雑誌 23(6):P89-94,2009.09	シェーグレン症候群を合併した多発性結節性肺アミロイドーシスの1例	田中聖子, 尾関雄一, 橋本博史, 中山健史, 前原正明	外科2
Audio-Visual Journal of JUA inpress,2009.09	横隔膜を少し超える巨大な下大静脈腫瘍塞栓を伴う右腎癌に対する1手術例 -手術侵襲を軽減する術式の考察	伊藤敬一, 城武卓, 吉井貴彦, 磯田晋, 山本順司, 前原正明, 早川正道, 浅野友彦	外科2
Tissue Engineering, Part C 15(3):P523-527,2009.08	Expansion and characterization of human bone marrow-derived mesenchymal stem cells cultured on fragmin/protamine microparticle-coated matrix with fibroblast growth factor-2 in low serum medium.	Satoko Kishimoto, Hidemi Hattori, Shingo Nakamura, Yoshiiko Amano, Yasuhiro Kanatani, Yoshihiro Tanaka, Yasutaka Mori, Yasuji Harada, Masahiro Tagawa, Masayuki Ishihara	外科2
日本呼吸器学会雑誌 47(8):P669-674,2009.08	明らかな基礎疾患を認めない気管支アスペルギルス症の検討	恐田尚幸, 小林英夫, 叶宗一郎, 元吉和夫, 相田真介, 尾関雄一	外科2
Carcinogenesis 30(7):P1139-1146,2009.07	Overexpression of SMYD2 relates to tumor cell proliferation and malignant outcome of esophageal squamous-cell carcinoma (SMYD2過剰発現は食道扁平上皮癌の細胞増殖と悪性度に関連する)	Komatsu Shuhei, Imoto Issei, Tsuda Hitoshi, Kozaki Kenichi, Muramatsu T, Shimada Yutaka, Aiko Satoshi, Yoshizumi Yutaka, Ichikawa Daisuke, Otsuji E, Inazawa Johji	外科2
日本腹部救急医学会雑誌 29(5):P711-715,2009.07	【腹部救急における敗血症の病態と治療戦略特に血液浄化療法について】制御性T細胞に着目したsepsisに続発する免疫抑制状態	辻本広紀, 平木修一, 木下学, 愛甲聰, 小野聰, 山本順司, 長谷和生	外科2
外科 71(7):P699-703,2009.07	消化器外科領域におけるoncologic emergency II.胃癌 2.胃癌穿孔	辻本広紀, 小野聰, 愛甲聰, 山本順司, 長谷和生	外科2
Canadian Journal of Surgery 52(3):PE71-E72,2009.06	Cholecystic adenosquamous carcinoma mimicking Mirizzi syndrome (Mirizzi症候群様の画像所見を呈した胆囊腺扁平上皮癌)	Takuya Horio, Sho Ogata, Yoshiaki Sugiura, Satoshi Aiko, Norishige Kanai, Hisayuki Matsunaga, Tadaaki Maehara	外科2
Artificial Organs 33(6):P419-424,2009.06	Coating of low-density lipoprotein and synthetic glycoconjugates as substrata for hepatocytes	Hiroyuki Yura, Masayuki Ishihara, Shingo Nakamura, Satoko Kishimoto, Yasuhiro Kanatani, Takuya Horio, Takamitu Ishiduka, Mitsuyuki Kawakami, Takemi Matsui	外科2
Canadian Journal of Surgery 52(3):PE73-E74,2009.06	Mature cystic teratoma in the posterior mediastinum.(後縦隔に発生した成熟囊胞性奇形腫)	Sho Ogata, Yasushi Okusa, Toshiya Ogawa, Tomomichi Ogawa, Kimitoshi Inoue, Yuichi Ozeki	外科2
Keio J Med 58(2):P103-109,2009.06	Pancreatectomy for pancreatic cancer with reference to combined resection of the vessels, twenty nine year experience by a single surgeon.	Yoshiaki Sugiura, Takuya Horio, Satoshi Aiko, Takamitu Ishiduka, Isao Kumano, Kato Y, Kato A, Kitajima M	外科2

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
臨床外科 64(6):P779-783,2009.06	大腸癌の肝転移のRandomized controlled trial	山本順司, 初瀬一夫, 柿原稔, 谷水長丸, 守屋智之, 上野秀樹, 辻本広紀, 小野聰, 市倉隆, 橋口陽二郎, 愛甲聰, 長谷和生	外科2
Circulation: Cardiovascular Imaging 2(3):P277-278,2009.05	A Novel Real-Time Fluorescent Optical Imaging System in Mouse Heart: A Powerful Tool for Studying Coronary Circulation and Cardiac Function	Hattori Hidemi, Higuchi Kaori, Nogami Yashiro, Amano Yoshiko, Ishihara Masayuki, Takase Bonpei	外科2
EMBO Journal 28(7):P843-853,2009.04	ASK1 and ASK2 differentially regulate the counteracting roles of apoptosis and inflammation in tumorigenesis(ASK1とASK2は別々に腫瘍発生においてアポトーシスと炎症の抑制を制御する)	Iriyama Takayuki, Takeda Kohsuke, Nakamura Hiromi, Morimoto Yoshifumi, Kuroiwa Takumi, Mizukami Junya, Umeda Tsuyoshi, Noguchi Takuya, Naguro Isao, Nishitoh Hideki, Saegusa Kaoru, Tobiame Kei, Horma Toshiki, Shimada Yutaka, Tsuda Hitoshi, Aiko Satoshi, Imoto Issei, Inazawa Johji, Chida Kazuhiro, Kamei Yoshimasa, Kozuma Shiro, Taketani Yuji, Matsuzawa Atsushi, Ichijo Hidenori	外科2
General Thoracic and Cardiovascular Surgery 57(4):P228-230,2009.04	Intercostal venous hemangioma presenting as a chest wall tumor	Hashimoto Hiroshi, Oshika Yoshiro, Obara Kiyohaya, Takeshima Shigeto, Tanaka Yoshiaki	外科2
麻酔 58(4):P426-431,2009.04	心房細動に対する胸腔鏡下mini Maze手術の麻酔管理	北井由美子, 松岡信広, 福田功, 風間富栄, 松谷哲行, 前原正明	外科2

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
埼玉医科大学 2010.03	Delayed sympathetic hyperactivity following electroconvulsive therapy in patients with catatonic schizophrenia(緊張型統合失調症における電気けいれん療法後の遅発性交感神経過活動)	Kuwahara Tatsuro, Yoshino Aihide, Horikawa Naoshi, Nomura Soichiro	精神科
トラウマティック・ストレス 8(1):P79-79,2010.02	ガス・ヒステリー	重村淳	精神科
麻酔 59(2):P235-237,2010.02	ニューロレプト麻酔後、悪性症候群か緊張病症候群かの鑑別が困難であった症状を呈した1症例	柳川洋一, 宮崎誠樹	精神科
学位授与機構 2010.02	不安障害の重複と大うつ病性障害の併発に関する臨床研究	宮崎誠樹	精神科
学位授与機構 2010.02	両眼視野闘争に関する精神生理学的研究	長峯正典	精神科
内科 105(2):P192-196,2010.02	内科医にうつ病をどこまで診てほしいか	野村総一郎	精神科
Comprehensive Psychiatry 51(1):P15-18,2010.01	Diagnosis of multiple anxiety disorders predicts the concurrent comorbidity of major depressive disorder	Miyazaki Masaki, Yoshino Aihide, Nomura Soichiro	精神科
医学のあゆみ 231(10):P1004-1008,2009.12	抗うつ薬による自殺と攻撃性増強についての論考	野村総一郎	精神科
脳と精神の医学 20(3):P255-259,2009.12	髓膜種を合併する反復性大うつ病性障害に対する修正型電気けいれん療法の経験	中武将幸, 寺石俊也, 脇園知宜, 田邊英, 桑原達郎, 吉野相英, 野村総一郎	精神科
トラウマティック・ストレス 7(2):P182-183,2009.09	集団パニック	重村淳	精神科
International Journal of Environmental Research and Public Health 6(8):P2205-2225,2009.08	Verification of the addiction severity index Japanese version (ASI-J) as a treatment-customization, prediction, and comparison tool for alcohol-dependent individuals	Haraguchi Ayako, Ogai Yasukazu, Senoo Eiichi, Saito Satoru, Suzuki Yoshihiro, Yoshino Aihide, Ino Aro, Yanbe Kenji, Hasegawa Mitsuru, Murakami Masaru, Murayama Masanobu, Ishikawa Toru, Higuchi Susumu, Ikeda Kazutaka	精神科
American Journal of Disaster Medicine 4(3):P133-134,2009-06	Responses to the outbreak of novel influenza A (H1N1) in Japan: risk communication and shimaguni konjo	Shigemura Jun, Nakamoto Koichi, Ursano Robert J.	精神科
Bipolar Disorders 11(5):P539-549,2009.05	Difference in binocular rivalry rate between patients with bipolar I and bipolar II disorders	Nagamine Masanori, Yoshino Aihide, Miyazaki Masaki, Takahashi Yoshitomo, Nomura Soichiro	精神科
Japanese Journal of Neuropsychopharmacology 29(2):P79-83,2009.04	Delayed sympathetic hyperactivity following electroconvulsive therapy in patients with catatonic schizophrenia(緊張型統合失調症における電気けいれん療法後の遅発性交感神経過活動)	Kuwahara Tatsuro, Yoshino Aihide, Horikawa Naoshi, Nomura Soichiro	精神科
日本神経精神薬理学雑誌 29(2):P37-39,2009.04	臨床医がうつ病モデル動物に望むもの	野村総一郎, 重村淳	精神科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Acta Paediatrica 99: P163-164, 2010.03	A case of glycogen storage disease type 1b presenting with prolonged neonatal hypoglycaemia and minimal metabolic abnormalities(遷延性新生児低血糖で発症し、代謝異常所見が軽度であった糖原病Ibの症例)	Matsumoto Hiroshi, Kajiwara Shinsuke, Ogura Yumi, Asano Takako, Horikawa Reiko, Nonoyama Shigeaki	小児科
日本小児科学会雑誌 144(1): P.85-87, 2010.01	人工呼吸管理例を含むパンデミックインフルエンザA(H1N1)2009肺炎の3例の治療経験	吉田裕輔, 西山光則, 石渡隆寛, 今井耕輔, 若松太, 川名明彦, 野々山恵章	小児科
日本マス・スクリーニング学会誌19(3): P.249-253, 2009.12	TRECs定量を用いた重症複合型免疫不全症に対する新生児マススクリーニング法の開発	中川紀子, 今井耕輔, 佐藤弘樹, 森西洋一, 野々山恵章	小児科
Science Translational Medicine 1(5): P.1-8, 2009.11	Common defects of ABCG2, a high-capacity urate exporter, cause gout: a function-based genetic analysis in a Japanese population	Hirotaka Matsuo, Tappei Takada, Kimiyoshi Ichida, Takahiro Nakamura, Akiyoshi Nakayama, Yuki Ikebuchi, Kousei Ito, Yasuyoshi Kusanagi, Toshinori Chiba, Shin Tadokoro, Yuzo Takada, Yuji Okawa, Hiroki Inoue, Koji Suzuki, Rieko Okada, Junichiro Nishiyama, Hideharu Domoto, Satoru Watanabe, Masanori Fujita, Yuji Morimoto, Mariko Naito, Kazuko Nishio, Asahi Hishida, Kenji Wakai, Yatami Asai, Kazuki Niwa, Keiko Kamakura, Shigeaki Nonoyama, Yutaka Sakurai, Tatsuo Hosoya, Yoshikatsu Kanai, Hiroshi Suzuki, Nobuyuki Hamajima, Naruyoshi Shinomiya	小児科
BMC medical genetics 20(9): P.42-42, 2009.11	Immunological profile in a family with nephrogenic diabetes insipidus with a	Fujimoto M, Imai Kohsuke, Hirata K, Kashiwagi R, Morinishi Youichi, Kitazawa K, Sasaki S, Arinami T, Nonoyama Shigeaki, Noguchi E	小児科
Biomedical Research 30(5): P.279-285, 2009.10	Rapid and simultaneous detection of 6 types of human herpes virus (herpes simplex virus, varicella-zoster virus, Epstein-Barr virus, cytomegalovirus, human herpes virus 6A/B, and human herpes virus 7) by multiplex PCR assay(6種類のヒトヘルペスウイルス(HSV-1/2、VZV、EBV、CMV、HHV-6A/BとHHV-7)DNAの同時検出を可能にしたマルチプレックスPCR法を開発)	Toshio Tanaka, Kazuhiro Kogawa, Hidenori Sasa, Shigeaki Nonoyama, Kenichi Furuya, Kenji Sato	小児科
Jurnal of Pediatrics 155(6): P829-833, 2009.08	Identification of Severe Combined Immunodeficiency by T-Cell Receptor Excision Circles Quantification Using Neonatal Guthrie Cards.	Sato Hiroki, Morinishi Youichi, Imai Kohsuke, Nakagawa Noriko, Horiuchi Katsuyuki, Nonoyama Shigeaki	小児科
日本周産期・新生児医学会雑誌 45(3): P.895-898, 2009.08	胎児腹膜内免疫グロブリン投与が著効した抗M抗体による血液型不適合妊娠の一例	吉田昌史, 松田秀雄, 若松太, 太枝美帆, 古谷健一	小児科
Pediatric Research 65(6): P636-641, 2009-06	Edaravone Inhibits DNA Peroxidation and Neuronal Cell Death in Neonatal Hypoxic-Ischemic Encephalopathy Model Rat(抗酸化剤エダラボンは新生児低酸素性虚血性脳症モデルラットにおけるDNA過酸化、神経細胞死を抑制する効果がある)	Takizawa Yuji, Miyazawa Takahito, Goto Yu-ichi, Itoh Masayuki	小児科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
埼玉県小児科医会報 16: P.22-27, 2009.06	当院で経験した肺炎球菌性髄膜炎6例の検討	梶原伸介, 松本浩, 吉田裕輔; 釜江智佳子, 本間健一, 小島令嗣, 金井貴志, 浅野貴子, 石渡隆寛, 若松太, 野々山恵章	小児科
Heart Vessels 27: P187-192, 2009.04	Efficacy and safety of carvedilol for heart failure in children and patients with congenital heart disease	Mitsunori Nishiyama, In-Sam Park, Tadahiro Yoshikawa, Yoshiho Hatai, Makoto Ando, Yukihiko Takahashi, Katsuhiko Mori, Yasuo Murakami	小児科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
整形・災害外科 53(3): P249-252, 2010.03	PIP関節拘縮を伴ったDupuytren拘縮に対するジグザグ切開による部分腱膜切除術と関節拘縮解離術	尼子雅敏, 有野浩司, 根本孝一	整形外科
JOSKAS 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会雑誌 35(1): P14-15, 2010.03	TKA術後のDVT発生に術後荷重時期とファンダパリスクスが及ぼす影響	三尾健介, 金子大毅, 瀧川真人, 小林 龍生, 桑久保正利, 根本孝一	整形外科
日本手の外科学会雑誌 26(2): P93-96, 2010.02	音楽家に発生したフォーカル・ジストニア	根本孝一, 有野浩司, 尼子雅敏	整形外科
The Internet Journal of Orthopedic Surgery 15: 2010.01	Concurrent occurrence of Achilles tendon rupture and medical malleolar fracture of the ankle joint: a case report	Masamitsu Tanaka, Hiroshi Shimizu	整形外科
整形外科 61(1): P53-56, 2010.01	腰部硬膜外カテーテル抜去後に硬膜外血腫を発症した1例 -下肢手術周術期における抗凝固療法の因子について-	三尾健介, 金子大毅, 瀧川真人, 小林 龍生, 朝妻幸仁, 谷戸祥之, 今林英明, 根本孝一	整形外科
防衛衛生 57(1): P11-16, 2010.01	非結核性抗酸菌感染が疑われた手・前腕腱鞘滑膜炎	田中優砂光, 根本孝一, 有野浩司, 津田悦史	整形外科
Central Nervous System Agents Medicinal Chemistry 9(4): P300-306, 2009.12	Efficacy of HGF gene transfer for various nervous injuries and disorders	Naoki Kato, Kuniaki Nakanishi, Koichi Nemoto	整形外科
日本人工関節学会誌 39: P26-27, 2009.12	MRIを用いたTKA術前計画	小林 龍生, 脇坂仁, 柳澤透, 三尾健介, 金子大毅	整形外科
日本臨床 67(8): P735-737, 2009.12	広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査—その数値をどう読むか—	山田治基, 森田充浩, 金治有彦, 伊達秀樹, 吉原愛雄, 増田広之	整形外科
Peripheral Nerve 末梢神経 20(2): P138-142, 2009.12	肘部管症候群の手術的治療:Osborne法とKing法	尼子雅敏, 根本孝一, 有野浩司	整形外科
Journal of Orthopaedic Science 14(6): P693-698, 2009.11	Bone mass assessment in naval crew members by quantitative ultrasound technique	Toyokazu Tsuchihara, Shigeyuki Yanagida, Satoshi Tsukazaki, Toshitaka Okabayashi, Koichi Nemoto	整形外科
Hip Joint 35: P6-10, 2009.10	Bi-Metricシステムの短期成績 -システム近位内側形状と骨吸収の関連-	城本雄一郎, 吉原愛雄, 河野友紀, 桑久保正利, 三原政彦, 根本孝一	整形外科
整形外科 60(11): P1180-1182, 2009.10	Gerdy結節の剥離骨折を合併した前十字靱帯不全膝の1例	金子大毅, 小林 龍生, 三尾健介, 瀧川真人, 金子正利, 根本孝一	整形外科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
関東整形災害外科学会雑誌 40(5): P352-356, 2009.10	Oxinium製人工膝関節周囲の骨囊胞部を3テスラMRIで評価した1例	金子大毅, 三尾健介, 滝川真人, 三原政彦, 根本孝一	整形外科
臨床脳波 51(10): P615-619, 2009.10	絞扼性神経障害の診断における電流知覚閾値検査の有用性	津田悦史, 有野浩司, 尼子雅敏, 根本孝一	整形外科
J Natl Def Med Coll 34(3): P148-155, 2009.09	Osteochondritis dissecans of the patella facet of the femur	Tatsuo Kobayashi, Mutsuo Yamazaki, Matsunaga Masashi, Mio Kensuke, Daiki Kaneko, Minoru Obara, Shunichi Sato,	整形外科
関東整形外科学会雑誌 40(4): P225-230, 2009.08	Hansson pin 内で折損した挿入器具を骨癒合後に抜去した1例	河野友紀, 吉原愛雄, 城本雄一郎, 金子正利, 根本孝一	整形外科
Connective Tissue Research 50: 2009.08	Temporal Effects of Cyclic Stretching on Distribution and Gene Expression of Integrin and Cytoskeleton by Ligament Fibroblasts In Vitro	Daiki Kaneko, Yoshihiro Sasazaki, Toshiyuki Kikuchi, Takeshi Ono, Koichi Nemoto, Hideo Matsumoto, Yoshiaki Toyama	整形外科
肩関節 33(3): P599-601, 2009.08	肩関節疾患におけるDASH日本語版の有用性	尼子雅敏, 有野浩司, 津田悦史, 金子正利, 渡邊樹一, 根本孝一	整形外科
関東整形災害外科学会雑誌 P218-218, 2009.08	自動釘打ち機による膝関節内異物の1例	三尾健介, 金子大毅, 滝川真人, 根本孝一	整形外科
Cellular Immunology 260(1): 2009.07	CD4+CD8+ thymocytes are induced to cell death by a small dose of puromycin via ER stress	Takemi Oguma, Tkeshi Ono, Toshimitsu Kajiwara, Masaki Sato, Tasushi Miyahira, Hiroshi Arino, Yasuo Yoshihara, Takushi Tadakuma	整形外科
関東膝を語る会会誌 25(1): P52-52, 2009.07	膝内側副韌帯周囲に発生した石灰沈着性関節周囲炎の1例	桑久保正利, 金子大毅, 三尾健介, 滝川真人, 根本孝一, 小林龍生	整形外科
Pediatric Anesthesia 19: P714-715, 2009.06	Anesthetic management of a child with Costello syndrome complicated by congenital absence of the portal vein - a case report	Tsutsui Masato, Sugahara Shinya, Motosuneya Takao, Wada Hiroki, Fukuda Isao, Umeda Eiichiro, Kazama	整形外科
Peripheral Nerve 末梢神経 20(1): P46-51, 2009.06	電流知覚閾値(CPT)検査による手根管症候群の臨床的特徴	津田悦史, 有野浩司, 尼子雅敏, 根本孝一	整形外科
日本脊髄傷害医学会誌 22(1): P64-65, 2009.05	中心性頸髄損傷後に発症した可能性脊椎炎の1例	安田明世, 谷戸祥之, 朝妻孝仁, 今林英明, 中道清広, 山根哲二	整形外科
臨床整形外科 44(5): P501-504, 2009.05	先天性橈尺骨癒合症の3例	古賀龍二, 根本孝一, 有野浩司, 土原豊一, 中道憲明, 加藤直樹, 岡林俊貴, 津田悦史, 田中祥貴	整形外科
日本病態生理学会雑誌 18(1): P35-38, 2009.05	神経因性疼痛モデルラットに対する逆行性軸索流を介したHGF遺伝子治療の効果	土原豊一, 中西邦昭, 根本孝一	整形外科
防衛衛生 56(5): P109-113, 2009.05	胸郭出口症候群(TOS)により生じた複合性局所疼痛症候群(CRPS)の2例	田中優砂光, 橋本道夫, 清水浩	整形外科

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者である者に限る)。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
臨床整形外科 44(5): P515-519, 2009.05	脛骨および大腿骨の骨軟骨腫による膝関節ロッキングの2例	中谷創, 三尾健介, 金子大毅, 河野友紀, 小林 龍生, 根本孝一	整形外科
防衛衛生 56(4): P89-94, 2009.04	小児の尺骨鈎状突起骨折の1例	田中優砂光, 橋本道夫	整形外科
膝 33(2): P379-383, 2009.04	膝関節広範囲骨軟骨病変に対する骨軟骨片・腸骨片ドミノ式移植術の2例	三尾健介, 小林 龍生, 金子大毅, 瀧川真人, 笹崎義弘, 根本孝一	整形外科

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者である者に限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Anesth 21(2): P135-140, 2010. 02	Progressive subdural hematomas after epidural blood patch for spontaneous intracranial hypotension	竹内誠, Takasato Y, Masaoka H, Hayakawa T, Otani N, Yoshino Y, Yatsushige H, Sugawara T	脳神経外科
J Clin Neurosci 17(1): P425-429, 2010. 01	Hemorrhagic encephalitis associated with Epstein-Barr virus infection	Takeuchi S, Yoshiro Takasato, Hiroyuki Masaoka, Takanori Hayakawa, Naoki Otani, Yoshikazu Yoshino, Hiroshi Yatsushige	脳神経外科
J Clin Neurosci. 11(1): P121-125, 2010. 01	Middle cerebral artery occlusion resulting from hypereosinophilic syndrome.	Takeuchi S, Takasato Y, Masaoka H, Hayakawa T, Otani N, Yoshino Y, Yatsushige H, Sugawara T	脳神経外科
Acta Neurochir Suppl. 106: P265-270, 2010. 01	Prognosis for severe traumatic brain injury patients treated with bilateral decompressive craniectomy.	Yatsushige H, Takasato Y, Masaoka H, Hayakawa T, Otani N, Yoshino Y, Sumiyoshi K, Sugawara T, Takeuchi S	脳神経外科
Neurol Med Chir (Tokyo). 2010 Jan;50(1):49-53.	Revascularization for anterior cerebral artery dissecting aneurysms--three case reports.	Uozumi Yoichi, Katoh Hiroshi, Tsuzuki Nobusuke, Toyooka Terushige, Miyazawa Takahito, Nawashiro Hiroshi, Shima Katsuji	脳神経外科
Acta Neurochir Suppl. 106: P261-264, 2010. 01	Surgical outcome following a decompressive craniectomy for acute epidural hematoma patients presenting with associated massive brain swelling	Otani N, Takasato Y, Masaoka H, Hayakawa T, Yoshino Y, Yatsushige H, Sumiyoshi K, Takeuchi S, Hiroki Miyawaki	脳神経外科
Neurosurgical Emergency (1342-6214) 14巻2号 Page198-203 (2009)	乳幼児期#17491;4脳室腫瘍による閉塞性水頭症に対し緊急開頭腫瘍摘出術を行った4例—特に頭囲拡大の有無と予後の関係について—	景山寛志, 魚住洋一, 苗代弘, 南村謙三, 藤井和也, 長谷公洋, 松本佳久, 鶴見賢司, 長田秀夫, 鈴木隆元, 都築伸介, 宮澤隆仁, 島克司	脳神経外科
脳神経外科 38(1): P35-40, 2010. 01	軽症頭部外傷症例における頭部3D-CT画像の有用性と注意点	松本佳久, 苗代弘, 魚住洋一, 景山寛志, 鶴見賢司, 長谷公洋, 南村謙三, 藤井和也, 戸村哲, 豊岡輝繁, 大角鶴司, 長田秀夫, 都築伸介, 島克司	脳神経外科
Neurology India 57(6): P808-809, 2009. 12	Administration of recombinant tissue plasminogen activator to a case of cerebral infarction in the setting of painless aortic dissection	Takeuchi S, Takasato Y, Masaoka H, Otani N	脳神経外科
Neurosurgery 65[ONS Suppl 1]:ons141#8211;ons148, 2009. 12	USEFULNESS OF AN ULTRASONIC SCALPEL TO HARVEST AND SKELETONIZE THE SUPERFICIAL TEMPORAL ARTERY FOR EXTRACRANIAL INTRACRANIAL BYPASS SURGERY	Kojiro Wada, Hiroshi Nawashiro, Hirohiko Arimoto, Hidenori Ohkawa, Kenichiro Ono, Takashi Takahara	脳神経外科
Brain and nerve 61(12): P1425-1428, 2009. 12	非典型的な血腫分布を示した破裂脳動脈瘤の1例	竹内誠, 高里良男, 正岡博幸, 早川隆宣, 大谷直樹, 吉野義一, 八ツ繁寛	脳神経外科
埼玉県医学会雑誌 44(1): P62-66, 2009. 11	神経膠芽腫に対するグルタミン酸トランスポーター-xCTを標的とした新規放射線化学療法	苗代弘, 豊岡輝繁, 長田秀夫, 魚住洋一, 松尾洋孝, 島克司, 四ノ宮成祥	脳神経外科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Acta Neurochir (Wien). 151(10): P1315-1317, 2009. 10	"Phosphenes": early sign of vascular compression neuropathy of the optic nerve.	Takahito Miyazawa, Yoichi Uozumi, Nobusuke Tsuzuki, Katsuji Shima	脳神経外科
脳卒中の外科 37: P375-378, 2009. 10	10年前にクリップされた破裂脳動脈瘤の病理学的所見とその臨床的意義	都築伸介, 大井川秀聰, 豊岡輝繁, 魚住洋一, 長田秀夫, 鈴木隆元, 宮澤隆仁, 苗代弘, 島克司	脳神経外科
brain and nerve 61(10): P1171-1175, 2009. 10	A case of ruptured middle cerebral artery bifurcation aneurysm presenting as putaminal hemorrhage without subarachnoid hemorrhage	竹内誠, 高里良男, 正岡博幸, 早川隆宣, 大谷直樹, 吉野義一, 菅原貴志	脳神経外科
脳神経外科 37(10): P983-986, 2009. 10	受傷部位と反対側に生じた外傷性中硬膜動静脈瘻の1例	竹内誠, 高里良男, 正岡博幸, 早川隆宣, 大谷直樹, 吉野義一	脳神経外科
脳卒中の外科 37: P258-263, 2009. 10	破裂脳動脈瘤に対する開頭クリッピング術の治療成績―特に術後中枢性塩類喪失症候群対策を主体とした脳血管拡張予防を中心―	魚住洋一, 都築伸介, 加藤裕, 豊岡輝繁, 景山寛志, 鶴見寛司, 松本佳久, 長谷公洋, 長田秀夫, 鈴木隆元, 苗代弘, 島克司	脳神経外科
IFMBE Proceeding 25: P748-750, 2009. 09	Light scattering signal as an indicator of loss of tissue viability in brains: Experiments using rat hypoxia models(脳組織バイアビリティー低下の指標としての光散乱信号:ラット低酸素モデルを用いた実験)	Kawauchi Satoko, Sato Shunichi, Uozumi Yoichi, Nawashiro Hiroshi, Ishihara Miya, Kikuchi Makoto	脳神経外科
Br J Neurosurg 14: P1-2, 2009. 08	Bilateral lenticulostriate artery aneurysms.	Takeuchi S, Yoshio Takasato, Hiroyuki Masaoka, Takanori Hayakawa, Naoki Otani, Yoshikazu Yoshino, Hiroshi Yatsushige	脳神経外科
Neurosurgical Emergency 14(1): P1-4, 2009. 08	脳神経外科専門医の地域格差と偏在の検討	鈴木隆元, 大角篤司, 都築伸介, 宮澤隆仁, 苗代弘, 島克司	脳神経外科
脳神経外科 37(7): P697-702, 2009. 07	A case of cerebral venous thrombosis associated with thrombocytopenia	竹内誠, 高里良男, 正岡博幸, 早川隆宣, 大谷直樹, 吉野義一, 八ツ繁寛	脳神経外科
No Shinkei Geka 37(6): P591-595, 2009. 07	A case of meningitis complicated by brainstem infarction	竹内誠, 高里良男, 正岡博幸, 早川隆宣, 大谷直樹, 吉野義一, 八ツ繁寛, 菅原貴志, 青柳監史, 鈴木剛	脳神経外科
Neurologia medico-chirurgica 45(10): P23-35, 2009. 07	Awake surgery for glioma resection in eloquent areas - Zurich's experience and review	Otani N, Bjeljac M, Muroi C, Weniger D, Khan N, Wieser HG, Curcic M, Yonekawa Y	脳神経外科
Journal of Clin Neurosci 16(6): P802-806, 2009. 07	Clinical features and the surgical outcome of ruptured distal anterior cerebral artery aneurysms in 20 consecutively managed patients.	Naoki Otani, Yoshio Takasato, Hiroyuki Masaoka, Takanori Hayakawa, Yoshikazu Yoshino, Hiroshi Yatsushige, Kyoko Sumiyoshi, Hiroki Miyawaki, Satoru Takeuchi, Chikashi Aoyagi, Go Suzuki	脳神経外科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Acta Neurochir (Wien) 14: P113-116, 2009.07	Development of chronic encapsulated intracerebral hematoma after radiosurgery for a cerebral arteriovenous malformation.	SatoruTakeuchi, Yoshio Takasato, Hiroyuki Masaoka, Takanori Hayakawa, Naoki Otani, Yoshikazu Yoshino, Hiroshi Yatsushige, Takashi Sugawara	脳神経外科
J Clin Neurosci 29(6): P112-116, 2009.07	Dolichoectasia involving the vertebrobasilar and carotid artery systems	Takeuchi S, Takasato Y, Masaoka H, Hayakawa T, Otani N, Yoshino Y, Yatsushige H, Sugawara T	脳神経外科
Journal of Clin Neurosci 16(8): P1018-1023, 2009.07	Ruptured aneurysms located at the nonbranching sites in the internal carotid artery including blister-like aneurysms with special attention to clinical, radiological findings, and surgical management.	Naoki Otani, Yoshio Takasato, Hiroyuki Masaoka, Takanori Hayakawa, Yoshikazu Yoshino, Hiroshi Yatsushige, Kyoko Sumiyoshi, Hiroki Miyawaki, SatoruTakeuchi, Chikashi Aoyagi, Go Suzuki	脳神経外科
Brain Nerve 61(2): P203-207, 2009.07	Trapping of ruptured dissecting aneurysm of distal anterior inferior cerebellar artery--case report.	竹内誠, 高里良男, 正岡博幸, 早川隆宣, 大谷直樹, 吉野義一, 八ツ繁寛	脳神経外科
脳神経外科 58(11): P1005-1007, 2009.07	味覚障害のみで発症した橋梗塞の1例	竹内誠, 高里良男, 正岡博幸, 早川隆宣, 大谷直樹, 吉野義一, 八ツ繁寛, 菅原貴志	脳神経外科
防衛衛生 56(7): P153-156, 2009.07	防衛医科大学校病院への回転翼による患者移送を行う方法	柳川洋一, 牟田直, 三丸敦洋, 阪本敏久, 斎藤大蔵, 望月英隆, 島克司, 大河原治平	脳神経外科
Neuroscience Letters 459: P152-156, 2009.06	Light scattering change precedes loss of cerebral adenosine triphosphate in a rat global ischemic brain model(ラット全脳虚血モデルにおいて脳の光散乱変化はアデノシン三リン酸の低下に先立つ)	Kawauchi Satoko, Sato Shunichi, Ooigawa Hideyoshi, Nawashiro Hiroshi, Ishihara Miya, Kikuchi Makoto	脳神経外科
Neurologia medico-chirurgica 49(4): P139-145, 2009.04	Initial Clinical Experience of Vasodilatory Effect of Intra-cisternal Infusion of Magnesium Sulfate for the Treatment of Cerebral Vasospasm after Aneurysmal Subarachnoid Hemorrhage.	Kentaro Mori, Takuji Yamamoto, Yasuaki Nakao, Hideo Osada, Y Hara, K Oyama, T Esaki	脳神経外科
脳卒中の外科 37(4): P258-263, 2009.04	破裂脳動脈瘤に対する開頭クリッピング術の治療成績-特に術後中枢性塩類喪失症候群を主体にした脳血管攣縮予防を中心について	魚住洋一, 都築伸介, 加藤裕, 豊岡輝繁, 景山寛志, 鶴見賢司, 松本佳久, 長谷公洋, 長田秀夫, 鈴木隆元, 苗代弘, 島克司	脳神経外科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
The Journal of Dermatology 2010(37): P1-9, 2010.02	Collagen-derived dipeptide, proline-hydroxyproline, stimulates cell proliferation and hyaluronic acid synthesis in cultured human dermal fibroblasts(コラーゲンペプチドによるヒト線維芽細胞のヒアルロン酸産生能)	Hiroki Ohara, Satomi Ichikawa, Hitoshi Matsumoto, Minoru Akiyama, Norihiro Fujimoto, Kobayashi Takashi, Shingo Tajima	皮膚科
The Society for Investigative Dermatology 2010(130): P405-414, 2010.01	AGE-Modified Collagens I and III Induce Keratinocyte Terminal Differentiation through AGE Receptor CD36: Epidermal-Dermal Interaction in Acquired Perforating Dermatosis (穿孔性皮膚症におけるAGE化collagenの排泄機序について)	Fujimoto Eita, Kobayashi Takashi, Fujimoto Norihiro, Akiyama Minoru, Tajima Shingo, Nagai Ryoji	皮膚科
皮膚病診療 32(1): P65-68, 2010.01	右前腕に生じたStewart-Treves症候群	武藤文之介, 岩崎純也, 藤本典宏, 小林孝志, 多島新吾, 桑原慎治, 増澤幹男, 勝岡憲生	皮膚科
臨床皮膚科 63(5): P385-388, 2009.10	リンパ節にサルコイド反応がみられた全身性形質細胞增多症の1例	細川僚子, 松越建, 斎藤昌孝, 海老原全, 塚越唯子, 横山健次, 岡本真一郎, 石河晃	皮膚科
Skin Cancer 24(2): P287-291, 2009.09	陰茎手術における術後の工夫	青木繁, 阿部浩之, 岩崎純也, 小野公司, 清野千賀, 藤本典宏, 小林孝志, 多島新吾	皮膚科
Journal of dermatological science 55(2): P91-98, 2009.08	Reciprocal regulation of LOX and LOXL2 expression during cell adhesion and terminal differentiation in epidermal keratinocytes	藤本栄大, 多島新吾	皮膚科
皮膚科の臨床 51(5): P661-663, 2009.05	ヒドロクロロチアジドによる光線過敏型薬疹	崎山真幸, 古田淳一, 川内康弘, 多島新吾, 大塚藤男	皮膚科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
The Journal of Urology inpress, 2009.09	ADRENOMEDULLIN INCREASES RENAL NITRIC OXIDE PRODUCTION AND AMELIORATES RENAL INJURY IN MICE WITH UNILATERAL URETERAL OBSTRUCTION	Ito Keiichi, Yoshii Hidehiko, Asano Takako, Ishizeki Kaori, Mizuguchi Yasunori, Yamanaka Masanori, Tokonabe Shigeki, Hayakawa Masamichi, Asano Tomohiko	泌尿器科
Jpn J Clin Oncol 39(9): P588-594, 2009.09	CLINICAL IMPACT OF THE PRESENCE OF THE WORST NUCLEOLAR GRADE IN RENAL CELL CARCINOMA SPECIMENS	Ito Keiichi, Yoshii Hidehiko, Asakuma Junichi, Akinori Sato, Horiguchi Akio, Sumitomo Makoto, Hayakawa Masamichi, Asano Tomohiko	泌尿器科
臨床泌尿器科 63(10): P817-821, 2009.09	コイルを用いた塞栓術により治療した広頸の腎動脈瘤	戸邊武蔵, 伊藤敬一, 梅田俊, 加地辰美, 早川正道, 浅野友彦	泌尿器科
Audio-Visual Journal of JUA inpress, 2009.09	横隔膜を少し超える巨大な下大静脈腫瘍塞栓を伴う右腎癌に対する1手術例 -手術侵襲を軽減する術式の考察	伊藤敬一, 城武卓, 吉井貴彦, 磯田晋, 山本順司, 前原正明, 早川正道, 浅野友彦	泌尿器科
International J of Oncology 14(4): P356-360, 2009.08	A Case of Bilateral Adrenal Leiomyosarcoma treated with multiple local therapies	Shinsuke Hamada, Keiichi Ito, Musashi Tobe, Hideo Otsuki, Yukihiro Hama, Yoshiaki Sugiura, Tatsumi Kaji, Tomohiko Asano, Masamichi Hayakawa	泌尿器科
Urology 74(1): P209-215, 2009.07	Activated Akt Prevents Antitumor Activity of Gefitinib in Renal Cancer Cells.	Kenji Kuroda, Akio Horiguchi, Makoto Sumitomo, Takako Asano, Keiichi Ito, Masamichi Hayakawa, Tomohiko Asano	泌尿器科
泌尿器科紀要 inpress, 2009.07	巨大膀胱憩室内に発生した平滑筋肉腫の1例	辻田裕二郎, 住友誠, 田崎新資, 城武卓, 橋口陽二郎, 浅野友彦	泌尿器科
防衛医科大学校雑誌 inpress, 2009.06	Sorafenibを使用した転移性腎癌3症例の治療経験	伊藤敬一, 佐藤全伯, 木村文宏, 吉井秀彦, 朝隈純一, 堀口明男, 住友誠, 早川正道, 浅野友彦	泌尿器科
泌尿器科紀要 55(6): P319-322, 2009.06	片側副腎を摘除した両側副腎性クッシング症候群の2例	戸邊武蔵, 伊藤敬一, 梅田俊, 安谷屋徳章, 田中祐司, 早川正道, 浅野友彦	泌尿器科
Molecular Medicine Reports 2(3): P423-428, 2009.05	A novel possibility of combination therapy targeting survivin in renal cancer cells: Inhibition of survivin expression by topotecan and hexamethylene bisacetamide	Akinori Sato, Takako Asano, Keiichi Ito, Makoto Sumitomo, Tomohiko Asano, Masamichi Hayakawa	泌尿器科
Protein Sci 18(5): P1042-1050, 2009.05	Rational redesign of neutral endopeptidase binding to merlin and moesin proteins	NiV MY, Iida K, Zheng R, Horiguchi Akio, Shen R, Nanus DM	泌尿器科
Urology 73(4): P9.23E+09-P9.23E+10, 2009.04	A case of vesicocutaneous fistula to the thigh	Takeo Kosaka, Tomohiko Asano, Ryuichi Azuma, Hidehiko Yoshii, Yoshinori Yamanaka, Masamichi Hayakawa	泌尿器科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
泌尿器外科 22(4): P607-611, 2009.04	TUR-BT術後の長い臥床後に発症した肺塞栓症の一例	辻田裕二郎, 伊藤敬一, 大槻英男, 小坂威雄, 早川正道, 浅野友彦	泌尿器科
日本泌尿器科学会雑誌 100(4): P550-554, 2009.04	骨盤内後腹膜線維症の一例	城武卓, 堀口明男, 梅田俊, 大槻英男, 戸邊武藏, 高橋正博, 早川正道, 浅野友彦, 栗本真人, 高瀬通汪	泌尿器科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
H21年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業 総括研究分担報告書 P21-55, 2010. 03	HIV感染妊婦とその出生児に関するデータベースの構築およびHIV感染妊婦の疫学的・臨床的情報解析	喜多恒和, 岩田みさ子, 小林裕幸, 佐久本薰, 高野政志, 田口彰則, 中西美紗緒, 松田秀雄, 筱浦茂樹, 金子ゆかり	産科婦人科
H21年度厚生労働科学特別研究 HTLV-Iの母子感染予防に関する研究班 総括研究分担報告書 P1-37: 2010. 03	HTLV-Iの母子感染予防に関する研究	齋藤滋, 増崎英明, 森内浩幸, 吉永光裕, 神奈木真理, 獄崎俊郎, 大場隆, 松田秀雄, 久保隆彦, 山口一成, 三浦清徳, 長田郁夫, 前田明彦, 杉浦時雄, 稲葉憲之, 大島教子, 林田志峯, 岩田欧介	産科婦人科
Journal of Cancer Research Clinical Oncology 136(3): P475-481, 2010. 03	Identification of potential serum markers for endometrial cancer using protein expression profiling	Masashi Takano, Yoshihiro Kikuchi, Takayoshi Asakawa, Tomoko Goto, Tsunekazu Kita, Kazuya Kudoh, Junzo Kigawa, Noriaki Sakuragi, Masaru Sakamoto, Toru Sugiyama, Nobuo Yaegashi, Hiroshi Tsuda, Hiroshi Seto, Mieko Shiwa	産科婦人科
産婦人科の実際 59(3): P527-529, 2010. 03	子宮体癌と卵巣癌の同時性重複癌の検討	加藤雅史, 高野政志, 吉川智之, 古谷健一	産科婦人科
厚生労働科学研究費補助金がん臨床研究事業:進行卵巣がんにおける化学療法先行治療の確立に関する研究:H21年度総括研究報告書 P17-24, 2010. 03	進行卵巣癌の腹水を用いた化学療法効果予測の試み	高野政志, 後藤友子, 平田純子, 渡邊昭夫, 宮本守員, 加藤雅史, 吉川智之, 佐々木直樹	産科婦人科
International Journal of Gynecological Cancer 20(2): P220-226, 2010. 02	Differential expression of hypoxia-inducible protein 2 among different histological types of epithelial ovarian cancer and in clear cell adenocarcinomas	Nishimura S, Tsuda H, Ito K, Masashi Takano, Terai Y, Jobo T, Kigawa J, Sugiyama T, Yaegashi N, Aoki D	産科婦人科
International Journal of Gynecological Cancer 20(2): P240-247, 2010. 02	Randomized phase II trial of paclitaxel plus carboplatin therapy versus irinotecan plus cisplatin therapy as first line chemotherapy for clear cell adenocarcinoma of the ovary: A JGOG study.	Satoshi Takakura, Masashi Takano, Fumiaki Takahashi, Toshiaki Saito, Daisuke Aoki, Noriyuki Inaba, Kichiro Noda, Toru Sugiyama, Japan Gynecologic Oncology Group (JGOG)	産科婦人科
The FASEB Journal 2010. 01	Silencing of the JNK pathway maintains progesterone receptor activity in decidualizing human endometrial stromal cells exposed to oxidative stress signals	Beatriz Leitao, Marius C. Jones, Luca Fusi, Jenny Higham, Yun Lee, Masashi Takano, Tomoko Goto, Mark Christian, Eric W.-F. Lam, Jan J. Brosens	産科婦人科
ペリネイタルケア 28(4): P49-51, 2010. 01	ペリネイタルケア	松田秀雄	産科婦人科
産婦人科の実際 58(13): P2155-2157, 2009. 12	常位胎盤早期剥離のすべて一常位胎盤早期剥離と止血困難時の対処	長谷川ゆり, 松田秀雄, 古谷健一	産科婦人科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本産科婦人科学会埼玉地方部会会誌 39(1): P35-42, 2009. 12	最近経験したホルモン産生卵巣腫瘍の3症例	笛秀典, 武田信彦, 吉永洋輔, 今井加納子, 佐々木直樹, 高野政志, 直井美穂, 相田真介, 古谷健一	産科婦人科
International Journal of Gynecological Cancer 19(8): P1353-1357, 2009. 11	The impact of complete surgical staging upon survival in early-stage ovarian clear cell carcinoma: a multi-institutional retrospective study	Masashi Takano, Toru Sugiyama, Nobuo Yaegashi, Mitsuaki Suzuki, Hiroshi Tsuda, Satoru Sagae, Yasuhiro Udagawa, Kazuo Kuzuya, Junzo Kigawa, Satoshi Takeuchi, Hotoshi Tsuda, Takuya Moriya, Yoshihiro Kikuchi	産科婦人科
第47回日本癌治療学会学術集会 記録集 P4-4, 2009. 11	イリゾテカン/シスプラチン療法の副作用とUGT1A1*28,*6の検討	高野政志, 他	産科婦人科
埼玉県医学会雑誌 44(1): P258-262, 2009. 11	子宮内膜細胞診が診断の遅れの要因となつた2例	笛秀典, 三輪淳子, 今井加納子, 渡邊昭夫, 加藤雅史, 吉川智之, 高野政志, 直井美穂, 相田真介, 古谷健一	産科婦人科
周産期医学 39(11): P1583-1592, 2009. 11	胎児疾患の薬物療法—胎児感染	松田秀雄	産科婦人科
Virchows Arch. 2009 Nov; 455(5): 413-422. Epub 2009 Oct 24.	Aberrant expression of p27kip1-interacting cell-cycle regulatory proteins in ovarian clear cell carcinomas and their precursors with special consideration of two distinct multistage clear cell carcinomas	Yamamoto Sohei, Tsuda Hitoshi (病態病理学講座), Miyai Kosuke (病態病理学), Takano Masashi, Tamai Seiichi, Matsubara Osamu	産科婦人科
Onkologie 32(10): P595-597, 2009. 10	Complete remission of metastatic and relapsed uterine cervical cancers using weekly administration of bevacizumab and paclitaxel/carboplatin.	Masashi Takano, Yoshihiro Kikuchi, Tsunekazu Kita, Tomoko Goto, Tomoyuki Yoshikawa, Masafumi Kato, Akio Watanabe, Naoki Sasaki, Morikazu Miyamoto, Horomi Inoue, Miki Ohbayashi	産科婦人科
European Journal of Gynaecologic Oncology 15(5): P575-578, 2009. 10	Primary clear cell carcinoma of the peritoneum: report of two cases and a review of the literature	Masashi Takano, Tomoyuki Yoshikawa, Masafumi Kato, Shinsuke Aida, Tomoko Goto, Kenichi Furuya, Yoshihiro Kikuchi	産科婦人科
Biomedical Research 30(5): P279-285, 2009. 10	Rapid and simultaneous detection of 6 types of human herpes virus (herpes simplex virus, varicella-zoster virus, Epstein-Barr virus, cytomegalovirus, human herpes virus 6A/B, and human herpes virus 7) by multiplex PCR assay(6種類のヒトヘルペスウイルス(HSV-1/2、VZV、EBV、CMV、HHV-6A/BとHHV-7)DNAの同時検出を可能にしたマルチプレックスPCR法を開発)	Toshio Tanaka, Kazuhiko Kogawa, Hidenori Sasa, Shigeaki Nonoyama, Kenichi Furuya, Kenji Sato	産科婦人科
産婦人科の実際 58(10): P1491-1496, 2009. 10	婦人科悪性腫瘍(卵巣癌・子宮体癌など)婦人科癌における消化管合併切除	橋口陽二郎, 上野秀樹, 内藤善久, 神藤英二, 梶原由規, 長谷和生, 古谷健一	産科婦人科
子宮筋層病変生検研究会誌 9(1): P6-7, 2009. 10	婦人科悪性腫瘍の診断における針生検の有用性と限界について	三輪淳子, 笛秀典, 渡邊昭夫, 吉川智之, 加藤雅史, 今井加納子, 高野政志, 相田真介, 古谷健一	産科婦人科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
第47回日本癌治療学会学術集会 記録集 P17-18 2009.10	婦人科癌におけるCPT-11とUGT1A1遺伝子多型の関連性	高野政志	産科婦人科
産婦人科の実際 58(10):1411-1416, 2009.10	子宮動脈塞栓術(UAE) 産科領域における動脈塞栓術 一癒着胎盤を中心にして	長谷川ゆり, 松田秀雄, 加地辰美, 古谷健一	産科婦人科
Virchows Archiv : an international journal of pathology 455(3): P261-270, 2009.09	An alleleotype analysis indicating the presence of two distinct ovarian clear-cell carcinogenic pathways: endometriosis-associated pathway vs. clear-cell adenofibroma-associated pathway	Sohei Yamamoto, Hitoshi Tsuda, Kozue Suzuki, Masashi Takano, Seiichi Tamai, Osamu Matsubara	産科婦人科
Taiwan J Obstet Gynecol. 2009 48(3): P282-285, 2009.09	Successful treatment of gastric cancer in pregnancy	Masashi Yoshida, Hideo Matsuda, Kenichi Furuya	産科婦人科
日本産科婦人科学会雑誌・研修コーナー-61(9)別冊 P269-274, 2009.09	母子感染(ウイルス疾患)における最近の知見	松田秀雄	産科婦人科
産科と婦人科76(9):P1112-1116, 2009.09	産科的出血に対する動脈塞栓術	長谷川ゆり, 松田秀雄, 古谷健一	産科婦人科
Virchows Arch 455: P261-270, 2009.08	An alleleotype analysis indicating the presence of two distinct ovarian clear-cell carcinogenic pathways: endometriosis-associated pathway vs.	Yamamoto Sohei, Tsuda Hitoshi (病態病理学講座, Suzuki Kozue (病態病理学講座), Takano Masashi,	産科婦人科
HIV母子感染全国調査研究報告書 平成20年度 P3-3, 2009.08	H20年度HIV感染妊婦の実態調査とその解析およびHIV感染妊婦とその出生児に関するデータベースの構築(産婦人科調査研究班)	喜多恒和, 井上孝実, 岩田みさ子, 小林裕幸, 佐久本薰, 清水泰樹, 高野政志, 中西美紗緒, 松田秀雄, 篠浦茂樹, 宮崎泰人, 吉野直人	産科婦人科
日本臨床67(増刊号5別冊) P162-164, 2009.08	子宮疾患・子宮内膜症の臨床—基礎・臨床研究のアップデートIV機能異常子宮弛緩症(弛緩出血)	古谷健一, 松田秀雄, 笹秀典	産科婦人科
日本周産期・新生児医学会雑誌 45(3): P895-898, 2009.08	胎児腹腔内免疫グロブリン投与が著効した抗M抗体による血液型不適合妊娠の一例	吉田昌史, 松田秀雄, 若松太, 太枝美帆, 古谷健一	産科婦人科
臨床婦人科産科 63(7):P959-963, 2009.07	胎児腹腔内免疫グロブリン療法(IFAC)	松田秀雄, 吉田昌史, 古谷健一	産科婦人科
International Journal of Cancer 125(2): P339-344, 2009.06	p16INK4a expression in cytology of ascites and response to chemotherapy in advanced ovarian cancer	Tomoko Goto, Masashi Takano, Junko Hirata, Toshiyuki Kohno, Shigenori Ohtsuka, Keiichi Fujiwara, Hitoshi Tsuda	産科婦人科
ペリネイタルケア 28(6): P85-89, 2009.06	【産婦人科診療ガイドライン】分娩室に準備しておくべき薬品・物品は?	松田秀雄	産科婦人科
臨床検査 53(4): P472-480, 2009.04	ウイルス感染症の胎児治療	松田秀雄	産科婦人科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Atherosclerosis 210(2): P542-547, 2009.12	Serum low-density lipoprotein cholesterol level is strong risk factor for acquired color vision impairment in young to middle-aged Japanese men: The Okubo Color Study Report 2	Shoji Takuhei, Sakurai Yutaka, Sato Hiroki, Chihara Etsuo, Ishida Masahiro, Omae Kazuyuki	眼科
Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol 247(6): P781-787, 2009.06	Long axial length as risk factor for normal tension glaucoma.	Oku Y, Oku H, Park M, Hayashi K, Takahashi H, Shouji Takuhei, Chihara E	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci 50(5): P1978-1987, 2009.05	Purification and characterization of mouse lacrimal gland epithelial cells and reconstruction of acinarlike structure in three-dimensional culture	Ueda Yoshiaki, Karasawa Yoko, Satoh Yasushi, Nishikawa Shinpei, Imaki Junko, Ito Masataka	眼科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Nippon Jibiinkoka Gakkai Kaiho 111(10): P664-667, 2009.10	[Case report on open injuries of the larynx]	Hirota Toshiharu, Karaho Takehiro, Tanaka Nobuaki, Tomifugi M, Tanabe Tetsuya, Shiotani A	耳鼻いんこう科
Acta Otolaryngol (15): P1-7, 2009.05	Relationship between globus sensation and esophageal clearance.	Adachi Jin, Ohmae Yukio, Karaho Takehiro, Tanabe Tetsuya, Mizokami D, Hirota Toshiharu, Tomifugi M, Kurita A, Matsunobu T, Shiotani A	耳鼻いんこう科
J Gastroenterol 44(7): P717-725, 2009.05	The preventive factors for aspirin-induced peptic ulcer: aspirin ulcer and corpus atrophy.	Shiotani A, Sakakibara T, Yamamoto Y, Nishi R, Imamura H, Fujita M, Tarumi K, Kamada T, Hata J, Haruma K	耳鼻いんこう科
Otolaryngol Head Neck Surg 140(4): P487-492, 2009.04	Laryngeal function after supracricoid laryngectomy	Saito K, KOJI Araki, Ogawa K, Shiotani A	耳鼻いんこう科
Int J Radiat Oncol Biol Phys, 2009.04	Weekly Low-Dose Docetaxel-Based Chemoradiotherapy for Locally Advanced Oropharyngeal or Hypopharyngeal Carcinoma: A Retrospective, Single-Institution Study.	Fukada J, Shigematsu N, Takeda A, Ohashi T, Tomita T, Shiotani A, Kunieda E, Kawaguchi O, Fujii M, Kubo A	耳鼻いんこう科
日本気管食道科学会会報 60(2): P192-192, 2009.04	フードと持続送気を併用した下咽頭スコピ一 咽喉食摘後遊離空腸移植例の場合	磯貝豊, 斎藤康一郎, 森有子, 富藤 雅之, 塩谷 彰浩, 茂呂和久, 高岡卓司, 稲垣康治, 長西秀樹, 矢部はる奈, 小川郁	耳鼻いんこう科
日本気管食道科学会会報 60(2): P156-157, 2009.04	喉頭乳頭腫に対するPower Assisted Surgery	鈴木洋, 望月隆一, 川本将浩, 山本圭介, 半田弘, 塩谷 彰浩	耳鼻いんこう科
日本気管食道科学会会報 60(2): P157-158, 2009.04	喉頭乳頭腫症に対する漢方治療	大久保啓介, 塩谷 彰浩, 斎藤康一郎, 池田麻子, 稲垣康治, 小島敬史, 福田宏之, 小川郁	耳鼻いんこう科
日本気管食道科学会会報 60(2): P174-175, 2009.04	声帯内BIOPEX注入術 手術手技の工夫について	稻垣康治, 斎藤康一郎, 大久保啓介, 池田麻子, 富藤 雅之, 高岡卓司, 藤峰武克, 長西秀樹, 小川郁, 塩谷 彰浩	耳鼻いんこう科
日本気管食道科学会会報 60(2): P166-166, 2009.04	声門下・気管狭窄に対しレーザーによる狭窄部半周切除が有効であった症例	上出大介, 富藤 雅之, 潟上大輔, 栗田 昭宏, 山下拓, 松延毅, 塩谷 彰浩	耳鼻いんこう科
日本気管食道科学会会報 60(2): P158-158, 2009.04	悪性転化した喉頭乳頭腫9例の臨床的検討および病理組織学的所見	小島敬史, 斎藤康一郎, 大久保啓介, 向井万起男, 稲垣康治, 長西秀樹, 福田宏之, 小川郁, 塩谷 彰浩	耳鼻いんこう科
音声言語医学 50(2): P109-115, 2009.04	栄養サポートチーム(NST)対象患者における摂食・嚥下機能に関する調査	藤峰武克, 塩谷 彰浩, 斎藤康一郎, 富藤 雅之, 角田晃一, 藤井正人, 小川郁	耳鼻いんこう科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int J Cardiovasc Imaging 28(11): P11-11, 2009.09	Comparison of 3D-diffusion-prepared segmented steady-state free precession and 2D fast spin echo imaging of femoral artery atherosclerosis	Katsumi Hayashi, Venkatesh Mani, Ajay Nemadé, Stéphane Silvera, Zahi A. Fayad	放射線科
Neurologia medico-chirurgica 49(8): P327-332, 2009.08	Simple Rabbit Model of Vulnerable Atherosclerotic Plaque(不安定plaque動物モデル)	Takashi Shimizu, Kanji Nakai, Yuji Morimoto, Miya Ishihara, Hidenori Ohishi, Makoto Kikuchi, Hajime Arai	放射線科
臨床核医学 42: P24-26, 2009.06	第9回アジア・オセアニア核医学生物学会	小須田茂	放射線科
Magnetic Resonance Imaging 27(3): P355-359, 2009.04	Biexponential apparent diffusion coefficients in prostate cancer	Hiroshi Shinmoto, Koichi Oshio, Akihiro Tanimoto, Nobuya Higuchi, Shigeo Okuda, Sachio Kuribayashi, Robert V Mulkern	放射線科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本口腔診断学会雑誌 23(1): P98-102, 2010.03	下顎骨骨髓炎より生じたと疑われた脳膿瘍の1例	高畠智文, 中島純子, 羽田朱里, 武藤壽孝, 渡邊伸也, 佐藤泰則	歯科口腔外科
Biomaterials 31: P83-90, 2010.01	Hydrogel blends of chitin/chitosan, fucoidan and alginate as healing-impaired wound dressings	Kaoru Murakami, Hiroshi Aoki, Shingo Nakamura, Sinichirou Nakamura, Megumi Takikawa, Motoaki Hanazawa, Satoko Kishimoto, Hidemi Hattori, Yoshihiro Tanaka, Tomoharu Kiyosawa, Yasunori Sato, Masayuki Ishihara	歯科口腔外科
Hosp. Dent (Tokyo) 21(2): P109-112, 2009.12	Evaluation of Chemotherapy Using Superselective Intra-arterial Infusion via the Superficial Temporal Artery in Our Department	Sato Yasunori, Okamoto Yoshiyuki, Shuri Hada, Nakajima Junko, Murakami Kaoru, Muto Toshitaka, Yokoe Hidetaka	歯科口腔外科
J Cancer res Clin Oncol 135: P1625-1633, 2009.11	Characterization of intracellular superoxide dismutase alterations in premalignant and malignant lesions of the oral cavity: correlation with lymph node metastasis	Hidetaka Yokoe, Hitomi Nomura, Yukio Yamamo, Kazuaki Fishimi, Yosuke Sakamoto, Katsunori Ogawara, Masaaki Shiiba, Hiroki Fukawa, Katsunori Uzawa, Yuichi Takiguchi, Hideki Tanzawa	歯科口腔外科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Anesthesia and Analgesia 109(6): P1836-1842, 2009.12	A Visual Stethoscope to Detect the Position of the Tracheal Tube	Kato Hiromi, Suzuki Akira, Nakajama Yoshiki, Makino Hiroshi, Sanjo Yoshimitsu, Nakai Takayoshi, Katoh Takasumi, Sato Shigehito	麻酔科
Journal of Cardiothoracic and Vascular Anesthesia 23(6): P835-840, 2009.12	Comparison of a New Cardiac Output Ultrasound Dilution Method With Thermodilution Technique in Adult Patients Under General Anesthesia	Tsutsui Masato, Matsuoka Nobuhiro, Ikeda Takehiko, Sanjo Yoshimitsu, Kazama Tomiei	麻酔科
麻酔 58(11): P1437-1440, 2009.11	Airway Scopeで挿管できなかった頭蓋底陥入症の1症例	北井由美子, 齊石 正明, 福田功, 風間富栄	麻酔科
Anesthesiology 111(4): P805-817, 2009.10	Early phase pharmacokinetics but not pharmacodynamics are influenced by propofol infusion rate	Masui Kenichi, Kira Marimo, Kazama Tomiei, Hagihira Satoshi, Eric P. Mortier, Michel M. R. F. Struys	麻酔科
Pediatric Anesthesia 19: P714-715, 2009.06	Anesthetic management of a child with Costello syndrome complicated by congenital absence of the portal vein - a case report	Tsutsui Masato, Sugahara Shinya, Motosuneya Takao, Wada Hiroki, Fukuda Isao, Umeda Eiichiro, Kazama Tomiei	麻酔科
British Journal of Anaesthesia 102(5): P667-672, 2009.05	Rocuronium dose-dependently suppresses the spectral entropy response to tracheal intubation during propofol anaesthesia.	Kawaguchi Masanori, Takamatsu Isao, Kazama Tomiei	麻酔科
Physiological Research 58(1): P77-82, 2009-04	Effect of Cervical Sympathetic Trunk Transection on Renal Sympathetic Nerve activity in Rats	Ikeda Takehiko, Hirakawa H, Kemuriyama Takehito, Nishida Yasuhiro, Kazama Tomiei	麻酔科
麻酔 58(4): P499-502, 2009.04	全前置胎盤、癒着胎盤で25,500mlの大量出血を来した帝王切開の麻酔経験	荒木義之, 福田功, 神谷一郎, 辻本芳孝, 菅原真哉, 風間富栄	麻酔科
麻酔 58(4): P426-431, 2009.04	心房細動に対する胸腔鏡下mini Maze手術の麻酔管理	北井由美子, 松岡信広, 福田功, 風間富栄, 松谷哲行, 前原正明	麻酔科
麻酔 58(4): P496-498, 2009.04	準広汎子宮全摘術後に右下腿コンパートメント症候群を発症した1症例	筒井紗也子, 星拓男, 宮部雅幸, 田中誠	麻酔科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Hospital Infection 75: P19-22, 2010. 03	Deposits on the intraluminal surface and bacterial growth in central venous catheters	西川可穂子, 高須朗, 津守秀明, 阪本敏久	救急部
J Trauma. 68(3), 2010. 03	Therapeutic Mild Hypothermia: Effects on Coagulopathy and Survival in a Rat Hemorrhagic Shock Model	岩本慎一郎, 高須朗, 阪本敏久	救急部
防衛衛生 57(3): P69-72, 2010. 03	消化管出血にクロストリジウム感染が合併し、急死した一症例	木村尚平, 柳川洋一	救急部
J of Trauma 68(2): P312-316, 2010. 02	Improved survival time with combined early blood transfusion and fluid administration in uncontrolled hemorrhagic shock in rats.	Akira Takasu, Yusuke Minagawa, Akira Takasu, Yusuke Minagawa, Satoshi Ando, Yorihiro Yamamoto, Toshihisa Sakamoto	救急部
防衛衛生(0006-5528)57巻2号 Page31-36(2010. 02)	Pharmacokinetics/Pharmacodynamics理論に基づくティコブラン投与によりメチシリソ耐性黄色ブドウ球菌を除菌せしめた1例	柳川洋一, 木村尚平, 井上博章	救急部
麻酔 59(2): P235-237, 2010. 02	ニューロレプト麻酔後、悪性症候群か緊張症候群かの鑑別が困難であった症状を呈した1症例	柳川洋一, 宮崎誠樹	救急部
日本臨床救急医学会雑誌 (1345-0581)13巻1号 Page46-48(2010. 02)	埼玉DMAT連携隊(防衛医科大学校病院・所沢市消防本部連携隊)の結成	柳川洋一, 大河原治平, 荒幡憲作, 松本和枝, 塩見直子, 村山のぞみ, 相澤雄介, 阪本敏久	救急部
Proc. SPIE. 7564(75641C): P1-6, 2010. 01	Photoacoustic diagnosis of edema in rat burned skin.	Ken Yoshida, Shunichi Sato, Kosuke Hatanaka, Daizoh Saitoh, Hiroshi Ashida, Toshihisa Sakamoto, Minoru Obara	救急部
EMS Mag 39(1): P61-65, 2010. 01	Target: tPA. Educational efforts help prehospital providers get stroke patients to the appropriate destinations and treatment.	Yanagawa Youichi, Koyama K, Ohkawara J, Sakamoto T	救急部
日救急医会関東誌 30(1): P96-97, 2009. 12	意識障害を来たした低ナトリウム血症を伴った中心性精髄損傷の1例	千田裕子, 高須朗, 今村友典, 阪本敏久	救急部
防衛衛生(0006-5528)56巻10号 Page211-214(2009. 10)	激しい腰痛と両下肢痛で発症し、頭蓋硬膜下血腫を合併し、死亡した劇症型溶連菌感染症の一例	柳川洋一, 畠中公輔, 阪本敏久, 山崎民大, 久貝信夫, 菊池良子, 松原修	救急部
日本臨床救急医学会雑誌 12(5): P473-477, 2009. 10	自衛隊医療組織の紹介ならびに大規模災害時の消防署との医療連携のあり方について—自衛隊員による考察	柳川洋一, 牟田直, 後藤義孝, 加藤圭, 牧野信也, 山田憲彦, 斎藤大蔵	救急部
Pediatr Emerg Care. 25(9): P572-574, 2009. 09	Characteristics of pediatric trauma in an urban city in Japan!	Yanagawa Youichi, Sakamoto T	救急部

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Pediatr Emerg Care 25(6): P523-524, 2009.08	Accidental fall due to abnormal behavior after experiencing a Streptococcus pyogenes infection	Yanagawa Youichi, Kaneko N, Higashidate S, Matsumoto H	救急部
Clinical Neuroscience 27(8): P902-903, 2009.08	神經中毒 チョウセンアサガオ中毒(解説/特集)	柳川洋一	救急部
呼吸と循環 57(8): P863-865, 2009.08	縦頸に肺水腫を伴った1例	本田泰之, 柳川洋一	救急部
Resuscitation 1 80(7): P826-831, 2009.07	Effects of various concentration of inhaled oxygen on tissue dysoxia, oxidative stress, and survival in a rat hemorrhagic shock model	Akira Takasu, Shinichiro Iwamoto, Satoshi Ando, Yusuke Minagawa, Misato Kashiba, Yorihiro Yamamoto, Toshihisa Sakamoto	救急部
Neurosurgical Emergency 14(1): P26-29, 2009.07	大地震における脳神経外科医のあり方	柳川洋一, 本間正人, 有本裕彦	救急部
防衛衛生 56(7): P153-156, 2009.07	防衛医科大学校病院への回転翼による患者移送を行う方法	柳川洋一, 牟田直, 三丸敦洋, 阪本敏久, 斎藤大蔵, 望月英隆, 島克司, 大河原治平	救急部
Am J Emerg Med. 2009 Jul;27(6):754.e5-6.	Muscle-specific tyrosine kinase antibody-positive myasthenic crisis with detailed electrophysiologic studies.	Yanagawa Youichi, Hongo Y, Shiozaki H, Kamakura K, Sonoo M, Motomura M	救急部
日本神経救急学会雑誌 21(2): P44-45, 2009.06	アルコール性ケトアシドーシスにより視力障害を來した3例	柳川洋一	救急部
Am J Emerg Med 27(3): P308-312, 2009.05	Relationship between laboratory findings and the outcome of cardiopulmonary arrest.	Youichi Yanagawa, Sakamoto T, Sato H	救急部
BRAIN and NERVE: 神經研究の進歩 61(5): P597-599, 2009.05	アルコール性ケトアシドーシスにより一過性の全盲と強い腹痛をきたした1例	柳川洋一, 西紘一郎, 阪本敏久	救急部
救急医学 33(4): P443-445, 2009.05	有機リン(とくに中間期症候群について)	高須朗	救急部
救急医学 33(4): P399-401, 2009.05	ハチスズメバチ刺傷後の出血斑は多臓器障害をきたす前兆症状の可能性がある	柳川洋一	救急部
防衛衛生 56(4): P95-98, 2009.04	多種の抗うつ剤を服用し、多彩な臨床症状を呈した1例	柳川洋一, 高須朗, 今村友典, 宮崎誠, 畠中公輔	救急部

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Biomedical Materials Research. Part A 92(4): P1614-1622, 2010. 03	Fragmin/protamine microparticles as cell carriers to enhance viability of adipose-derived stromal cells and their subsequent effect on in vivo neovascularization	Shingo Nakamura, Satoko Kishimoto, Sinichirou Nakamura, Masaki Nambu, Masanori Fujita, Yoshihiro Tanaka, Yasutaka Mori, Masahiro Tagawa, Tadaaki Maehara, Masayuki Ishihara	形成外科
Biomaterials 31: P83-90, 2010. 01	Hydrogel blends of chitin/chitosan, fucoidan and alginate as healing-impaired wound dressings	Kaoru Murakami, Hiroshi Aoki, Shingo Nakamura, Sinichirou Nakamura, Megumi Takikawa, Motoaki Hanzawa, Satoko Kishimoto, Hidemi Hattori, Yoshihiro Tanaka, Tomoharu Kiyosawa, Yasunori Sato, Masayuki Ishihara	形成外科
J. Biomed. Mater. Res. (B) 92: P32-39, 2010. 01	Immobilization, Stabilization, and Activation of Human Stem Cell Factor (SCF) on Fragmin/Protamin Microparticle (F/P MP)-Coated Plates	Satoko Kishimoto, Fumie Oonuma, Shingo Nakamura, Hidemi Hattori, Sinichirou Nakamura, Yasutaka Mori, Yoshihiro Tanaka, Yasuji Harada, Masahiro Tagawa, Masayuki Ishihara	形成外科
Journal of Biomedical Materials Research. Part A 91(3): P814-823, 2009. 12	Controlled release of FGF-2 using fragmin/protamine microparticles and effect on neovascularization.	Shingo Nakamura, Yasuhiro Kanatani, Satoko Kishimoto, Sinichirou Nakamura, Chizuko Ohno, Takuya Horio, Masanori Fujita, Hidemi Hattori, Yoshihiro Tanaka, Tomoharu Kiyosawa, Tadaaki Maehara, Masayuki Ishihara	形成外科
Artificial Organs 33(6): P431-438, 2009. 06	Fragmin/protamine microparticle-coated matrix immobilized cytokines to stimulate various cell proliferations with low serum media	Satoko Kishimoto, Shingo Nakamura, Sinichirou Nakamura, Yasuhiro Kanatani, Hidemi Hattori, Yoshihiro Tanaka, Yasuji Harada, Masahiro Tagawa, Yasutaka Mori, Tadaaki Maehara, Masayuki Ishihara	形成外科
Skin Surgery 18(2): P95-98, 2009. 06	外陰部再建における大腿内側VY進展回転皮弁(仮称)	石川勝也, 佐々木薫, 久保諭, 吉田龍一, 鶴見友紀, 潤川恵美, 中村真一郎, 柳林聰, 東隆一, 山本直人, 清澤智晴	形成外科
Skin Surgery 18(2): P109-112, 2009. 06	海外で施行された美容外科手技によるトラブル症例の経験	柳林聰, 久保諭, 吉田龍一, 石川勝也, 鶴見友紀, 潤川恵美, 中村真一郎, 佐々木薫, 東隆一, 山本直人, 清澤智晴	形成外科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Skin Surgery 18(2): P113-116, 2009.06	筋肉内に発生したchronic expanding hematomaの2例	鷲見友紀, 山本直人, 泉彰典, 柳林聰, 久保論, 吉田龍一, 石川勝也, 潤川恵美, 中村真一郎, 佐々木薫, 東隆一, 清澤智晴	形成外科
Urology 73(4): 9.29E+10-9.29E+10, 2009.04	A case of vesicocutaneous fistula to the thigh	Takeo Kosaka, Tomohiko Asano, Ryuichi Azuma, Hidehiko Yoshii, Yoshinori Yamanaka, Masamichi Hayakawa	形成外科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
JOSKAS 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会雑誌 35(1): P14-15, 2010. 03	TKA術後のDVT発生に術後荷重時期とフォンダバリヌクスが及ぼす影響	三尾健介, 金子大毅, 滝川真人, 小林 龍生, 桑久保正利, 根本孝一	リハビリテーション部
整形外科 61(1): P53-56, 2010. 01	腰部硬膜外カテーテル抜去後に硬膜外血腫を発症した1例 -下肢手術間隔期における抗凝固療法の因子について-	三尾健介, 金子大毅, 滝川真人, 小林 龍生, 朝妻孝仁, 谷戸祥之, 今林英明, 根本孝一	リハビリテーション部
日本人工関節学会誌 39: P26-27, 2009. 12	MRIを用いたTKA術前計画	小林 龍生, 痩坂仁, 柳澤透, 三尾健介, 金子大毅	リハビリテーション部
整形外科 60(11): P1180-1182, 2009. 10	Gerdy結節の剥離骨折を合併した前十字靱帯不全膝の1例	金子大毅, 小林 龍生, 三尾健介, 滝川真人, 金子正利, 根本孝一	リハビリテーション部
J Natl Def Med Coll 34(3): P148-155, 2009. 09	Osteochondritis dissecans of the patella facet of the femur	Tatsuo Kobayashi, Mutsuo Yamazaki, Matsunaga Masashi, Mio Kensuke, Daiki Kaneko, Minoru Obara, Shunichi Sato, Koichi Nemoto	リハビリテーション部
関東膝を語る会会誌 25(1): P52-52, 2009. 07	膝内側副靱帯周囲に発生した石灰沈着性関節周囲炎の1例	桑久保正利, 金子大毅, 三尾健介, 滝川真人, 根本孝一, 小林 龍生	リハビリテーション部
臨床整形外科 44(5): P515-519, 2009. 05	脛骨および大腿骨の骨軟骨腫による膝関節ロッキングの2例	中谷創, 三尾健介, 金子大毅, 河野友紀, 小林 龍生, 根本孝一	リハビリテーション部
膝 33(2): P379-383, 2009. 04	膝関節広範囲骨軟骨病変に対する骨軟骨片・腸骨片ドミノ式移植術の2例	三尾健介, 小林 龍生, 金子大毅, 滝川真人, 笹崎義弘, 根本孝一	リハビリテーション部

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Acta Medica Okayama 64(1): P63-65, 2010. 02	Poorly differentiated adenocarcinoma with signet-ring cell carcinoma of the extrahepatic bile duct in a 42-year-old Japanese female: a case report (42才日本人女性の肝外胆道に発生した印環細胞癌を伴う低分化腺癌の症例報告)	Sho Ogata, Akifumi Kimura, Kazuo Hatsuse, Junji Yamamoto, 島崎英幸, Kuniaki Nakanishi, Toshiaki Kawai	検査部
日本産科婦人科学会埼玉地方部会誌 39(1): P35-42, 2009. 12	最近経験したホルモン産生卵巣腫瘍の3症例	笛秀典, 武田信彦, 吉永洋輔, 今井加納子, 佐々木直樹, 高野政志, 直井美穂, 相田真介, 古谷健一	検査部
埼玉県医学会雑誌 44(1): P258-262, 2009. 11	子宮内膜細胞診が診断の遅れの要因となつた2例	笛秀典, 三輪淳子, 今井加納子, 渡邊昭夫, 加藤雅史, 吉川智之, 高野政志, 直井美穂, 相田真介, 古谷健一	検査部
Virchows Arch. 2009 Nov;455(5):413-22. Epub 2009 Oct 24. 455: P413-422, 2009. 10	Aberrant expression of p27kip1-interacting cell-cycle regulatory proteins in ovarian clear cell carcinomas and their precursors with special consideration of two distinct multistage clear cell carcino	Yamamoto Sohei, Tsuda Hitoshi (病態病理学講座), Miyai Kosuke (病態病理学), Takano Masashi, Tamai Seiichi, Matsubara Osamu	検査部
European Journal of Gynaecologic Oncology 15(5): P575-578, 2009. 10	Primary clear cell carcinoma of the peritoneum: report of two cases and a review of the literature	Masashi Takano, Tomoyuki Yoshikawa, Masafumi Kato, Shinsuke Aida, Tomoko Goto, Kenichi Furuya, Yoshihiro Kikuchi	検査部
GASTROENTEROLOGY 24(9): P1527-1533, 2009. 10	Significance of Lymphatic invasion and cancer invasion-related proteins on lymph node metastasis in gastric cancer	Itaru Kamata, Yukio Ishikawa, Yuri Akishima-Pukasawa, Kenji Ito, Yoshikiyo Akasaka, Miwa Uzuki, Ai Fujimoto, Hiroshi Morita, Seiichi Tamai, Tadaaki Maehara, Kentaro Ogata, Reiko Shimokawa, Yoshinori Igarashi, Kazumasa Miki, Toshiharu Ishii	検査部
子宮筋層病変生検研究会誌 9(1): P6-7, 2009. 10	婦人科悪性腫瘍の診断における針生検の有用性と限界について	三輪淳子, 笛秀典, 渡邊昭夫, 吉川智之, 加藤雅史, 今井加納子, 高野政志, 相田真介, 古谷健一	検査部
Virchows Arch 455: P261-270, 2009. 08	An allelotype analysis indicating the presence of two distinct ovarian clear-cell carcinogenic pathways: endometriosis-associated pathway vs. clear-cell adenofibroma-associated pathway	Yamamoto Sohei, Tsuda Hitoshi (病態病理学講座), Suzuki Kozue (病態病理学講座), Takano Masashi, Tamai Seiichi, Matsubara Osamu	検査部
Pathology International 59(8): P592-594, 2009. 08	Malignant pleural mesothelioma initially diagnosed on cervical lymph node biopsy (頸部リンパ節生検により診断された悪性胸膜中皮腫)	Sho Ogata, Sadayuki Hiroi, Tominaga Susumu, Shinsuke Aida, Ayako Kobayashi, Katsumi Tamura, Yoshiyuki Abe, Toshiaki Kawai	検査部
日本呼吸器学会雑誌 47(8): P669-674, 2009. 08	明らかな基礎疾患を認めない気管支アスペルギルス症の検討	恐田尚幸, 小林英夫, 叶宗一郎, 元吉和夫, 相田真介, 尾閔雄一	検査部

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
気管支学 31(4): P231-236, 2009.08	特発性非特異性間質性肺炎治療後にサルコイドーシスを発症した一例	恐田尚幸, 小林英夫, 叶宗一郎, 元吉和夫, 相田真介, 尾閻雄一	検査部
Pathology International 59(6): P390-394, 2009.06	Histological differences between invasive ductal carcinoma with a large central acellular zone and matrix-producing carcinoma of the breast (乳腺の中心部に広汎な無細胞領域を有する浸潤性乳管癌と基質産生癌との組織学的な相違)	Sasaki Yuka, Tsuda Hitoshi, Ueda Shigeto, Asakawa Hideki, Seki Kunihiko, Murata Tetsuya, Kuriki Ken, Tamai Seiichi, Matsubara Osamu	検査部
Hepatology 49(6): P2044-2054, 2009.06	Novel Mechanism of C-Reactive Protein for Enhancing Mouse Liver Innate Immunity	Inatsu Akihito, Kinoshita Manabu, Nakashima Hiroyuki, Shimizu Jun, Saitoh Daizoh, Tamai Seiichi, Seki Shuhji	検査部
Mayo Clin Proc 84(6): P555-557, 2009.06	Tracheobronchial pulmonary disease associated with pyoderma gangrenosum	Kanoh Soichiro, Kobayashi Hideo, Sato Ken, Motoyoshi Kazuo, Aida Shinsuke	検査部
日本臨床細胞学会埼玉県支部会誌 27: P35-38, 2009.05	混合型小細胞癌の一例	直井美穂, 遠藤久子, 織田智博, 高橋宏美, 壱勇一, 相田真介, 島崎英幸, 玉井誠一	検査部
European Journal of Cardiovascular Prevention and Rehabilitation 16(2): P222-228, 2009.04	Effect of lipid-lowering therapy with atorvastatin on atherosclerotic aortic plaques:a 2-year follow-up by noninvasive MRI	Yonemura Atsushi, Momiyama Yukihiko, Zahi A. Fayad, Ayaori Makoto, Ohmori Reiko, Kihara Teruyoshi, Tanaka Nobukiyo, Nakaya Kazuhiro, Ogura Masatsune, Taniguchi Hiroaki, Kusuhara Masatoshi, Nagata Masayoshi, Nakamura Haruo, Tamai Seiichi, Ohsuzu Fumitaka	検査部

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Eurosurveillance 15(1): P19455-19455, 2010. 01	When should we intervene to control the 2009 influenza A(H1N1) pandemic?	Sato Hiroki, Nakada Haruka, Yamaguchi Rui, Imoto Seiya, Miyano Satoru, Kami Masahiro	医療情報部
Atherosclerosis 210(2): P542-547, 2009. 12	Serum low-density lipoprotein cholesterol level is strong risk factor for acquired color vision impairment in young to middle-aged Japanese men: The Okubo Color Study Report 2	Shoji Takuhei, Sakurai Yutaka, Sato Hiroki, Chihara Etsuo, Ishida Masahiro, Omae Kazuyuki	医療情報部
日本マス・スクリーニング学会誌 19(3): P249-253, 2009. 12	TRECs定量を用いた重症複合型免疫不全症に対する新生児マススクリーニング法の開発	中川紀子, 今井耕輔, 佐藤弘樹, 森西洋一, 野々山恵章	医療情報部
Journal of Pediatrics 155(6): P829-833, 2009. 07	Identification of Severe Combined Immunodeficiency by T-Cell Receptor Excision Circles Quantification Using neonatal Guthrie Cards	Morinishi Youichi, Imai Kohsuke, Nakagawa Noriko, Sato Hiroki, Horiuchi Katsuyuki, Ohtsuka Y, Kaneda Y, Taga T, Hisakawa H, Miyaji R, Endo M, Oh-Ishi T, Kamachi Y, Akahane K, Kobayashi C, Tsuchida M, Morio T, Sasahara Y, Kumaki S, Ishigaki K, Yoshida M, Urabe T, Kobayashi N, Okimoto Y, Reichenbach J, Hashii Y, Tsuji Yoichiro, Kogawa Kazuhiro, Yamaguchi S, Kanegae H, Miyawaki T, Yamada M, Ariga T, Nonoyama Shigeaki	医療情報部

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Progress in Medicine 30(3): P113-117, 2010.03	高血圧症例におけるアンジオテンシンII受容体拮抗薬追加投与による血管内皮機能に及ぼす影響—ことにOlmesartan medoxomilの上腕動脈内皮機能への効果—	高瀬凡平, 永田雅良, 浜部晃, 上畠昭美, 石原雅之, 栗田明	集中治療部
日本冠疾患学会雑誌 15(4): P377-377, 2009.12	冠動脈危険因子高血圧症例のアンジオテンシンII受容体拮抗薬・降圧利尿薬合剤の血管内皮機能に及ぼす影響	高瀬凡平, 木村一生, 永田雅良, 浜部晃, 上畠昭美, 栗田明	集中治療部
Anadolu Kardiyol Derg 9(4): P345-347, 2009.08	Periodic recurrence of wide QRS tachycardia in myocardial infarction and vasospasm:utility of heart rate variability to assess autonomic nervous system activity on vasospasm-induced lethal arrhythmia	Takase Bonpei, Kimura Mikihiko, Hamabe Akira, Uehata Akimi, Hattori Hidemi, Ishihara Masayuki, Kurita Akira	集中治療部
ANNDOLU KARDIYOLOJİ DERGİSİ 9(3): P189-195, 2009.06	Usefulness of automatic QT dispersion measurement for detecting exercise-induced myocardial ischemia	Takase Bonpei, Nobuyuki Masaki, Hidemi Hattori, Masayuki Ishihara, Akira Kurita	集中治療部

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 望月 英隆	
管理担当者氏名	庶務課長 田中 義春 薬剤部長 曽根原 豊	医事課長 井上 裕雄 医療情報部長 塩谷 彰浩

	保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	庶務課 医療情報部 薬剤部 手術部 看護部	カルテ等の病歴資料は医療情報部で一括管理をしている。外来カルテは診療科ごと、入院カルテは入院期間ごとに作成され、電算機に登録管理されており、保存期間は10年である。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	庶務課
	高度の医療の提供の実績	医事課
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課
	高度の医療の研修の実績	教務課
	閲覧実績	庶務課
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	薬剤部
	一規号則に第一回掲げる条の体十制の第一回確一保項の各状況及び第九条の二十三第一項第	医療に係る安全管理のための指針の整備状況 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況 医療に係る安全管理のための職員研修の実施 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況 専任の院内感染対策を行う者の配置状況 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	文書管理規則等に基づき、各担当課において、作成部署・文書分類番号・保存期間等を記入し管理している。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の実施状況	
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 望月 英隆
閲覧担当者氏名	各診療科部長 庶務課長 医事課長 薬剤部長 教務課長
閲覧の求めに応じる場所	病院第3会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数	延 0 件
閲 覧 者 別	医 師 延 0 件
	歯 科 医 師 延 0 件
	国 延 0 件
	地 方 公 共 団 体 延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹 介 率	61.9%	算定期間	平成21年 4月 1日～平成22年 3月31日
算 出 根 拠	A : 紹介患者の数		10,900 人
	B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		5,094 人
	C : 救急用自動車によって搬入された患者の数		3,161 人
	D : 初診の患者の数		25,868 人

(注) 1 「紹介率」欄は、A, B, Cの数の和をBとDの和で除した数に 100を乗じて少數点以下第1位まで記入すること。

2 A, B, C, Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第13-2)

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有)・無
・ 指針の主な内容： 安全管理システムの構築、医療従事者の研鑽、安全管理組織の充実、インシデントレポートの推進、医療事故発世辞の対応方針、患者家族との情報共有、患者相談窓口の設置及び情報システムの活用	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12回
・ 活動の主な内容： (1) 病院内における安全管理のための指針の整備に関すること。 (2) 病院内における安全管理のための医療事故の報告要領に関すること。 (3) インシデント報告及びアクシデント報告に基づく医療事故防止に必要な方策の策定に関すること。 (4) 医療事故が発生した場合の対応要領に関すること。 (5) 安全管理体制の確保のために必要な職員の教育研修制度に関すること。	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 14回
・ 研修の主な内容： (1) いまさら人に聞けないBLS (2) プロジェクトチームの取り組み (3) 医療事故を防ぐために	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 ・ その他の改善のための方策の主な内容：	(有)・無
(1) 合併症事例に係る報告の義務化 (2) 安全対策プロジェクトチーム及び小委員会において改善策を検討	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	(有) 2名・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有) 1名・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	(有)・無
・ 所属職員： 専任（2）名 兼任（2）名 ・ 活動の主な内容： (1) インシデント報告書の収集、分析、集計等を行うとともに再発防止を検討 (2) インシデント事例及び再発防止策の職員への周知・確認 (3) 医療安全に関する研修の企画立案及び実施 (4) 安全管理マニュアルの作成及び修正	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	(有)・無

(様式第13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有・無)
・ 指針の主な内容： 院内感染の未然防止、発生時の迅速適切な対処を定めた基本方針、感染対策委員会、感染対策室及び感染管理チームの設置、各診療科等の感染対策管理のための責任者の配置、感染対策マニュアルの整備、院内感染発生時の対処、各種報告の義務、職員研修の実施及び患者等との情報共有	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12回
・ 活動の主な内容： (1) 院内感染対策に関すること。 (2) 院内感染管理体制に関すること。 (3) 集団発生するおそれのある感染症の対策に関すること。	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 3回
・ 研修の主な内容： (1) 感染症クライシスへの対応 (2) ATP拭き取り検査器を用いた環境調査について (3) 新型インフルエンザの臨床	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の状況	
・ 病院における発生状況の報告等の整備 ・ その他の改善のための方策の主な内容 (1) 携帯版の感染対策マニュアルを作成し全職員に配布、携帯を義務付 (2) イベント発生に即応した新型インフルエンザ、耐性菌に関する職員教育の実施 (3) ATP拭き取り検査器等を使用した実地指導の実施 (4) 反復したラウンドを実施し遵守状況を数値可視化	(有・無)

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 7 回
研修の主な内容： ①院内処方せんの変更の行い方 ②院内インスリン治療講習会 ③抗癌剤オーダーリング・医療事故のポイント ④麻薬施用者講習会 ⑤院内安全管理対策(持参薬) ⑥薬剤部業務と医薬品安全使用 ⑦医療用麻薬製剤の取扱い	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (有)・無) ・ 業務の主な内容： ①医薬品の採用 ②医薬品管理 ③調剤/持参薬管理 ④薬剤管理指導業務 ⑤医薬品情報 ⑥地域薬剤師会との連携	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有)・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： (1) 厚労省から「医薬品安全性情報」、総合機構から「医薬品安全対策情報」入手するほか、日本病院機能評価機構の「医療安全情報」などの医療安全に関する情報を収集している。 (2) 収集した情報のうち必要なものについて、各病棟・診療科などに注意喚起文書として印刷物で配布するとともに個人宛にメールで配信。特に重要なものは「医療安全推進室ニュース【重要】」に掲載し確認サインにより、周知を図っている。	

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	<input checked="" type="radio"/> 有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 1 5 回
研修の主な内容： (1) 初任医師、看護師に対する各機器操作と安全管理 (2) 使用者に対する機器操作と安全管理 (3) 機器導入時の操作法と安全管理 (4) 病院職員対象機器説明会 (5) 使用現場巡回安全管理指導	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の策定 (<input checked="" type="radio"/> 有・無) ・ 保守点検の主な内容： 人工心肺装置及び補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動装置、閉鎖式保育器、診療用高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線照射装置をはじめとする機器について、日常点検、定期点検を院内各部で分担又は部外委託で実施	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (<input checked="" type="radio"/> 有・無) ・ その他の改善の方策の主な内容： 病院ホームページから閲覧できる形の安全管理ガイドラインを作成し方針を示しているほか、リンク形式で添付文、マニュアル、研修内容、点検計画等の閲覧ができるようにしている。 また、院内メールを用いて隨時安全情報を発信している。	